

周南市
市民アンケート調査
報告書

令和元年7月

周 南 市

目次

I. 市民アンケート調査の実施概要	1
1. 調査の概要	1
II. アンケート調査の結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 市民の意識や生活について	5
3. 市民の満足度や今後の重要度	14
4. 市政運営や市民サービスについて	31
5. 市民参画について	42
参考：まちづくりへの意見や要望など（自由記述）	45
資料：アンケート調査票	56

I. 市民アンケート調査の実施概要

1. 調査の概要

(1) 目的

本市では、まちづくりのための基本的な施策を着実に推進するため、周南市総合計画策定条例に基づき、総合計画を策定し、総合的かつ計画的な市政の運営を図っています。現行の第2次まちづくり総合計画「しゅうなん共創共生プラン」の計画期間は、平成27（2015）年度から10年間で、そのうち前期基本計画（計画期間5年間）は令和元（2019）年度末で終了するため、現在、令和2（2020）年度からの後期基本計画の策定を進めています。

このアンケート調査は、市民のニーズや満足度、市政に対する考えなどを伺い、後期基本計画策定の基礎資料を作成するために実施しました。

(2) 対象

平成30（2018）年8月1日現在、市内に在住する18歳以上の方（約10万9千人）の中から、地区、性別等を考慮して無作為に抽出した3,000人。

(3) 方法

郵送による調査票の配付と回収

(4) 期間

平成30年9月18日（火）から10月12日（金）まで。

(5) 配付・回収状況

回収率は、43.5%で、前回調査（43.8%）より0.3%下回っています。

調査年度		配付数 (件)	回収数 (件)	回収率 (%)
平成30年度		3,000	1,306	43.5
参 考	平成25年度 (2013)	2,500	1,095	43.8
	平成20年度 (2008)	6,500	3,059	47.1

〔調査結果利用上の注意〕

- ・属性（設問1～7）の無回答や端数処理により、各項目の合計欄が一致しない場合があります。
- ・複数回答の質問では、回答比率の合計が100%と一致しません。
- ・数表や図表は、文言を省略している場合があります。

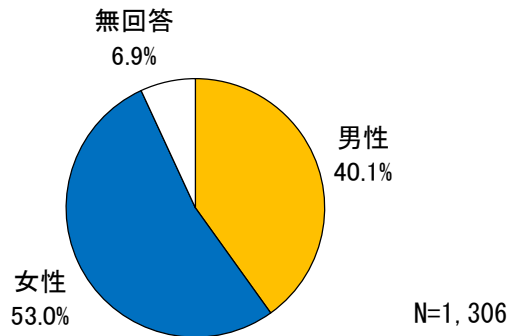
Ⅱ. アンケート調査の結果

設問内容や選択肢など、実際のアンケート調査票は、本報告書56ページにあります。

1. 回答者の属性

(1) 性別【問1】

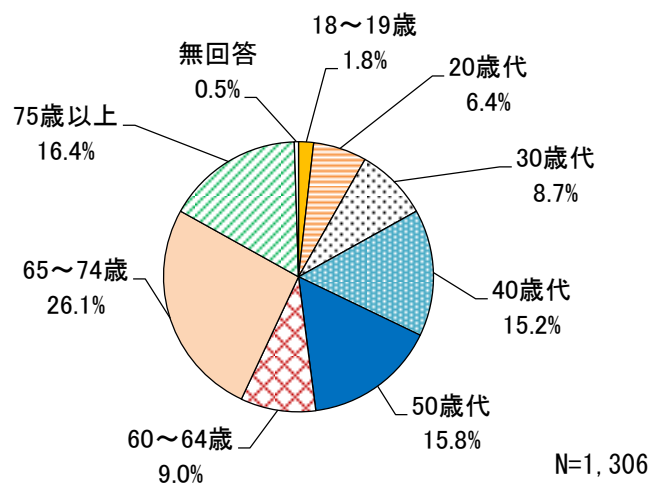
回答者の性別は、男性40.1%、女性53.0%でした。



(2) 年齢【問2】

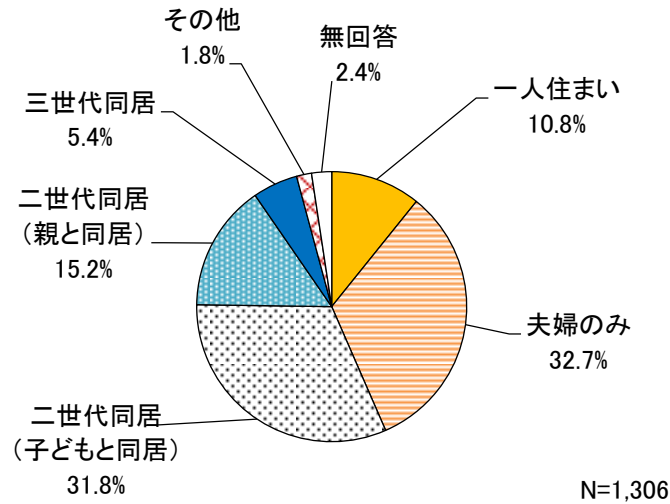
回答者の年齢は、「65～74歳」が26.1%で最も多く、次いで「75歳以上」が16.4%、「50歳代」が15.8%、「40歳代」が15.2%の順になっています。

18～20歳代が8.2%、30～50歳代が39.7%、60歳以上が51.5%となっており、高齢者の回答割合が高くなっています。



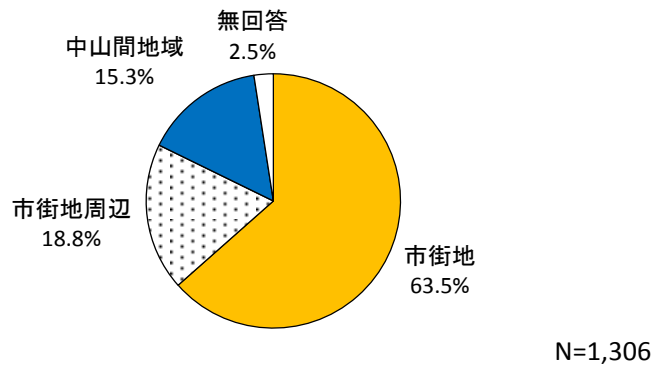
(3) 家族構成【問3】

回答者の家族構成は、「夫婦のみ」が32.7%で最も多く、次いで「二世世代同居（子どもと同居）」が31.8%、「二世世代同居（親と同居）」が15.2%、「一人住まい」が10.8%の順になっています。



(4) 居住地【問4】

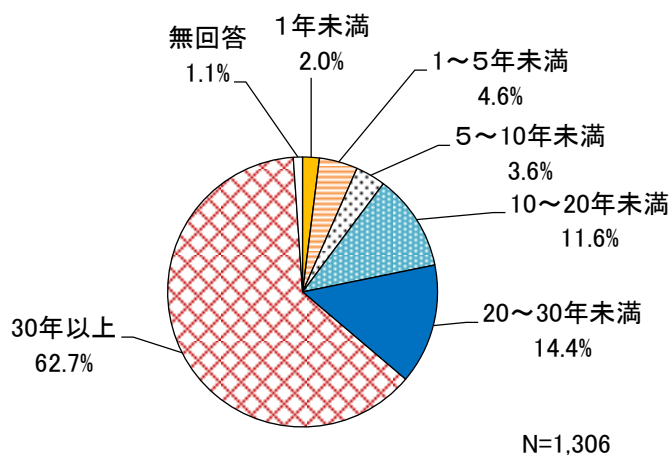
回答者の居住地は、市街地が63.5%（配付割合67.3%）、市街地周辺が18.8%（配付割合19.1%）、中山間地域が15.3%（配付割合13.6%）になっています。



区域	地区	配付割合	回答割合
市街地	関門・中央、遠石、今宿、周陽・秋月・桜木、岐山、久米、櫛浜、富田、福川、	67.3	63.5
市街地周辺	鼓南、菊川、夜市、湯野、戸田、勝間、大河内	19.1	18.8
中山間地域	大道理・大向、長穂、須々万、中須、須金、大津島、和田、三丘、高水、八代、鹿野	13.6	15.3

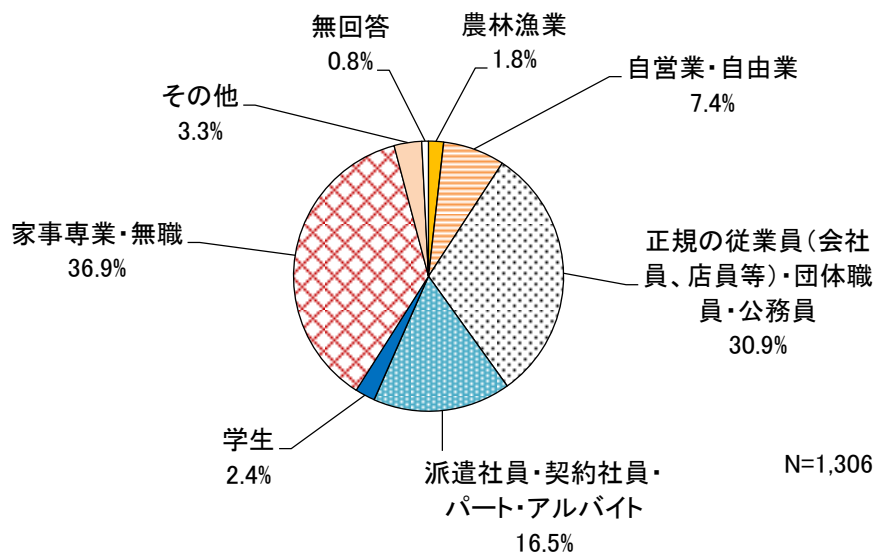
(5) 居住年数【問6】

回答者の居住年数は、30年以上が62.7%で最も多く、次いで20～30年未満が14.4%、10～20年未満が11.6%、1～5年未満が4.6%の順になっています。



(6) 職業（雇用形態）【問7】

回答者の就業状況は、家事専業・無職が36.9%で最も多く、次いで正規の従業員等が30.9%、派遣社員等が16.5%、自営業・自由業が7.4%の順になっています。

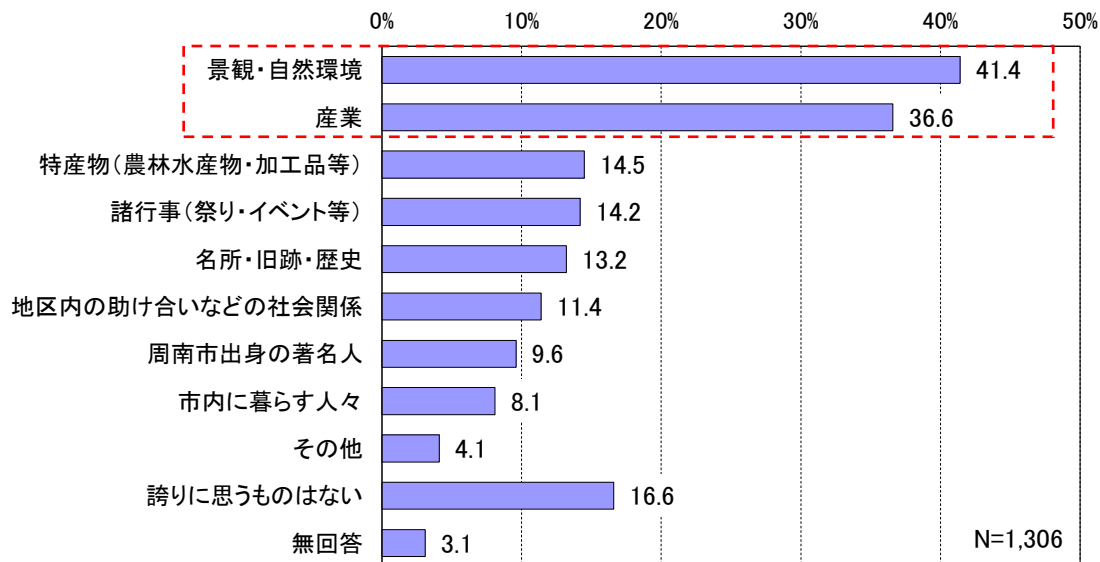


2. 市民の意識や生活について

(1) 周南市について誇りに思うもの【問8（複数回答可）】

「景観・自然環境」を選択した人の割合が41.4%で最も高く、次いで「産業」が36.6%、「特産物」が14.5%、「諸行事」が14.2%の順になっています。

地域別にみますと、「景観・自然環境」と「産業」は、いずれの地域も高い割合になっていますが、「特産物」と「諸行事」は、特に中山間地域で高い割合になっています。



(単位: %)

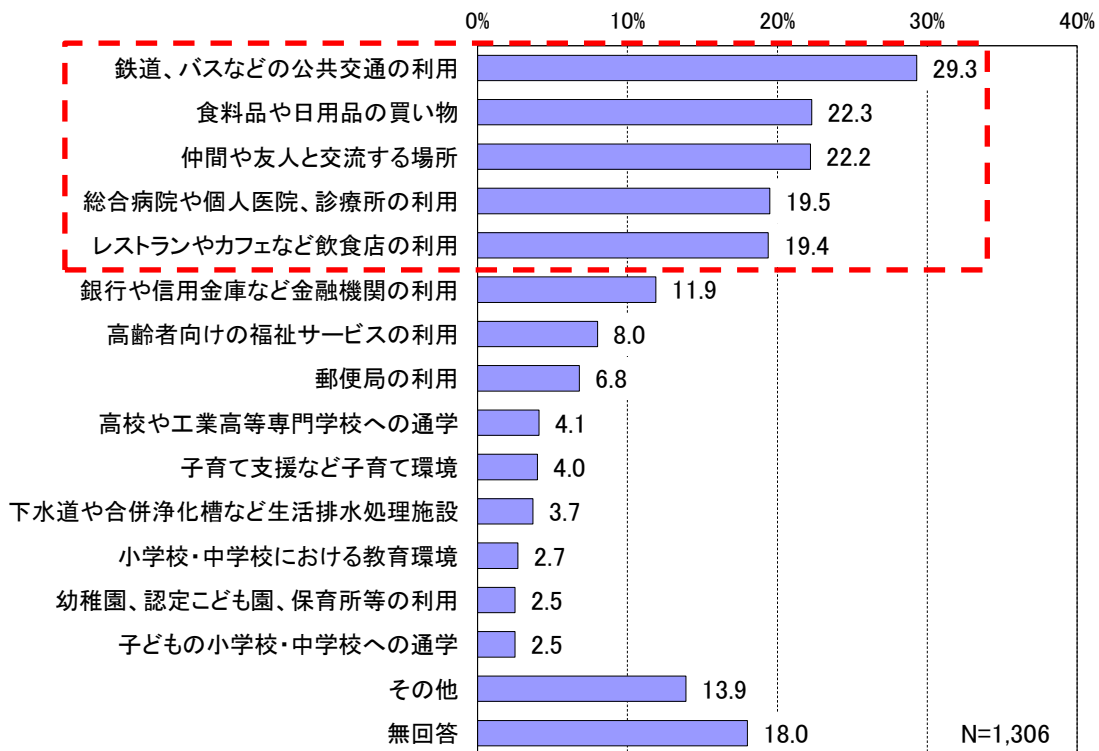
項目	全体	市街地	市街地周辺	中山間地域
景観・自然環境	41.4	40.0	41.2	48.5
産業	36.6	39.2	34.7	27.5
特産物(農林水産物・加工品等)	14.5	13.0	15.1	20.5
諸行事(祭り・イベント等)	14.2	12.4	12.2	23.0
名所・旧跡・歴史	13.2	13.3	11.4	15.0
地区内の助け合いなどの社会関係	11.4	9.9	11.0	19.0
周南市出身の著名人	9.6	10.0	7.8	10.5
市内に暮らす人々	8.1	8.6	7.8	6.5
その他	4.1	4.8	4.5	1.5
誇りに思うものはない	16.6	16.2	20.0	15.5
無回答	3.1	2.9	2.9	2.5

※20%超のものを着色しています。

(2) 日常生活で困っていること【問9（複数回答可）】

「公共交通の利用」を選択した人の割合が29.3%で最も多く、次いで「買い物」が22.3%、「交流する場所」が22.2%、「医療機関の利用」が19.5%、「飲食店の利用」が19.4%の順になっています。

地域別にみますと、「交流する場所」と「公共交通の利用」は、いずれの地域も高い割合になっていますが、「買い物」や「飲食店の利用」、「金融機関の利用」、「医療機関の利用」は、市街地以外で高い割合になっています。



(単位: %)

項目	全体	市街地	市街地周辺	中山間地域
鉄道、バスなどの公共交通の利用	29.3	24.6	35.9	40.5
食料品や日用品の買い物	22.3	16.0	37.6	28.5
仲間や友人と交流する場所	22.2	22.7	18.8	22.5
総合病院や個人医院、診療所の利用	19.5	12.8	24.9	40.5
レストランやカフェなど飲食店の利用	19.4	17.2	21.2	25.5
銀行や信用金庫など金融機関の利用	11.9	6.6	27.3	14.0
高齢者向けの福祉サービスの利用	8.0	7.1	10.2	8.0
郵便局の利用	6.8	5.9	12.2	2.5
高校や工業高等専門学校への通学	4.1	2.1	5.3	11.5
子育て支援など子育て環境	4.0	4.6	3.3	2.5
下水道など生活排水処理施設	3.7	2.2	6.9	6.0
小学校・中学校における教育環境	2.7	2.8	1.6	3.5
幼稚園、認定こども園、保育所等の利用	2.5	2.4	2.0	3.0
子どもの小学校・中学校への通学	2.5	2.2	4.1	1.5
その他	13.9	16.0	10.2	8.0
無回答	18.0	20.9	9.8	15.0

※20%超のものを着色しています。

(3) 周南市への愛着【問10】

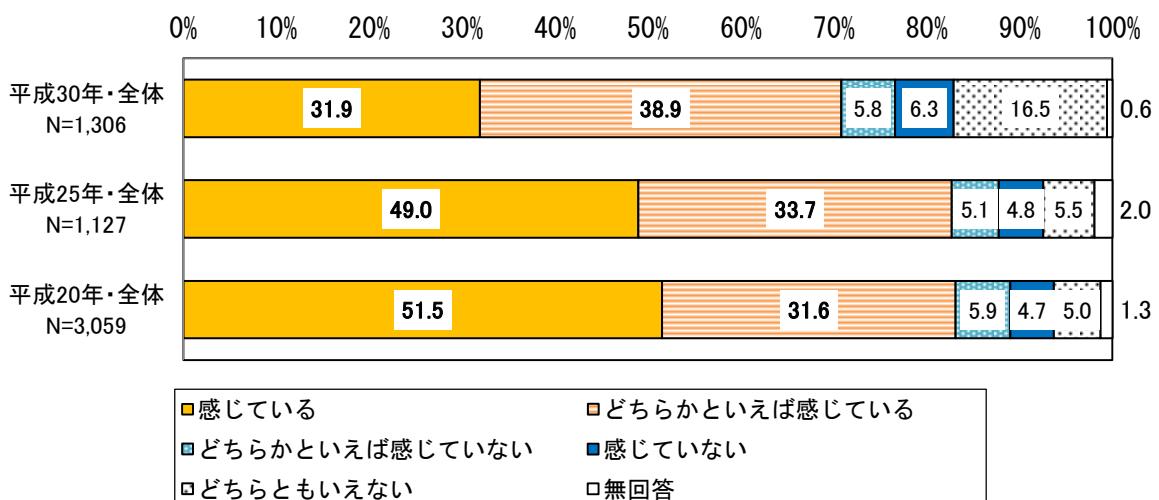
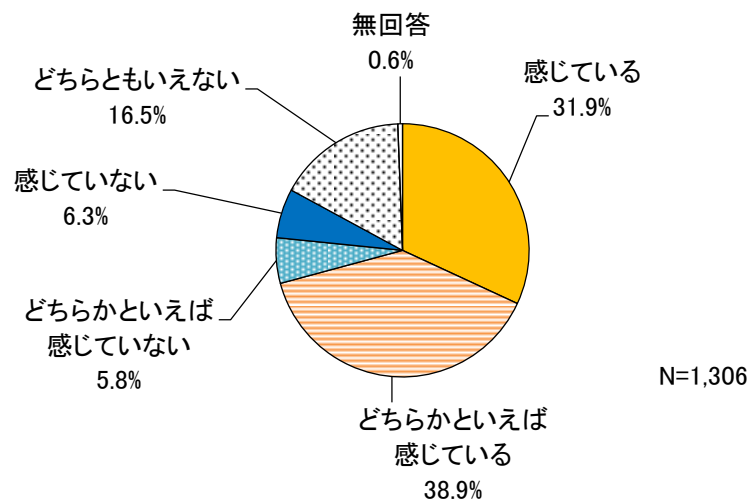
「感じている」と回答した人の割合が31.9%、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合が38.9%になっていて、70.8%の人が概ね愛着を感じていると回答しています。

地域別にみますと、「感じている」又は「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合は、市街地が73.4%で最も高く、次いで中山間地域が69.5%、市街地周辺が63.2%の順になっています。

年齢別にみますと、「感じている」又は「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合は、50歳代が76.3%で最も高く、次いで40歳代が74.9%、60～64歳が74.6%の順になっています。

居住年数別にみますと、「感じている」又は「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合は、10～20年未満が74.2%で最も高く、次いで30年以上が72.9%、20～30年未満が68.1%の順になっています。

また、前回までの調査と比較しますと、概ね愛着を感じていると回答した人の割合は、82.7%から11.9%下がっています。



(単位:%)

		回答者(人)	感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえは感じていない	感じていない	どちらともいえない	無回答
全体		1,306	31.9	38.9	5.8	6.3	16.5	0.6
地域別	市街地	829	33.5	39.9	5.5	6.0	14.8	0.1
	市街地周辺	245	26.5	36.7	6.5	6.5	23.3	0.4
	中山間地域	200	33.5	36.0	5.5	7.0	17.0	1.0
	無回答	32	18.8	46.9	9.4	6.3	6.3	12.5
性別	男性	524	31.3	38.5	5.7	7.3	16.8	0.4
	女性	692	33.2	39.6	5.5	5.5	15.9	0.3
	無回答	90	24.4	35.6	8.9	6.7	20.0	4.4
年齢	18～19歳	23	34.8	39.1	4.3	8.7	13.0	0.0
	20歳代	83	22.9	38.6	4.8	13.3	19.3	1.2
	30歳代	114	25.4	39.5	6.1	12.3	15.8	0.9
	40歳代	199	32.2	42.7	9.0	4.5	11.6	0.0
	50歳代	207	34.3	42.0	5.8	4.8	13.0	0.0
	60～64歳	118	27.1	47.5	1.7	5.1	18.6	0.0
	65～74歳	341	34.0	36.4	5.0	5.6	18.8	0.3
	75歳以上	214	35.5	32.7	6.5	4.7	20.1	0.5
	無回答	7	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	57.1
職業(雇用形態)	農林漁業	24	29.2	54.2	4.2	8.3	4.2	0.0
	自営業・自由業	96	40.6	36.5	4.2	4.2	14.6	0.0
	正規の従業員・団体職員・公務員	404	31.4	40.3	6.9	7.7	13.1	0.5
	派遣社員・契約社員・パート・アルバイト	215	27.4	44.7	6.5	4.2	17.2	0.0
	学生	31	38.7	41.9	6.5	3.2	9.7	0.0
	家事専業・無職	482	30.9	36.3	5.0	6.4	21.2	0.2
	その他	43	44.2	27.9	7.0	9.3	11.6	0.0
	無回答	11	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1	45.5
世帯構成	一人住まい	141	31.2	36.2	7.8	9.2	14.9	0.7
	夫婦のみ	427	31.6	36.5	5.4	6.3	19.9	0.2
	二世帯同居(子どもと同居)	415	34.5	40.2	5.5	5.3	14.2	0.2
	二世帯同居(親と同居)	198	31.3	38.9	7.1	7.1	15.2	0.5
	三世帯同居	70	22.9	52.9	4.3	4.3	15.7	0.0
	その他	24	33.3	37.5	4.2	8.3	16.7	0.0
	無回答	31	25.8	35.5	3.2	3.2	19.4	12.9
居住年数	1年未満	26	23.1	38.5	3.8	7.7	26.9	0.0
	1～5年未満	60	20.0	36.7	6.7	21.7	15.0	0.0
	5～10年未満	47	27.7	34.0	19.1	4.3	14.9	0.0
	10～20年未満	151	28.5	45.7	5.3	4.6	15.2	0.7
	20～30年未満	188	25.0	43.1	9.6	5.3	16.5	0.5
	30年以上	819	35.3	37.6	4.4	5.7	16.8	0.1
	無回答	15	40.0	13.3	0.0	6.7	6.7	33.3

(4) 周南市の住みやすさ【問11】

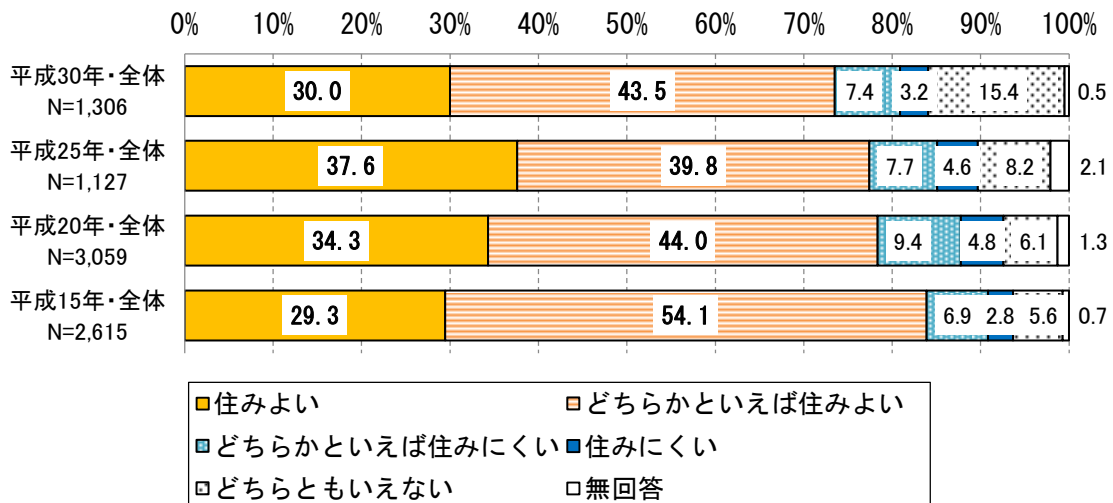
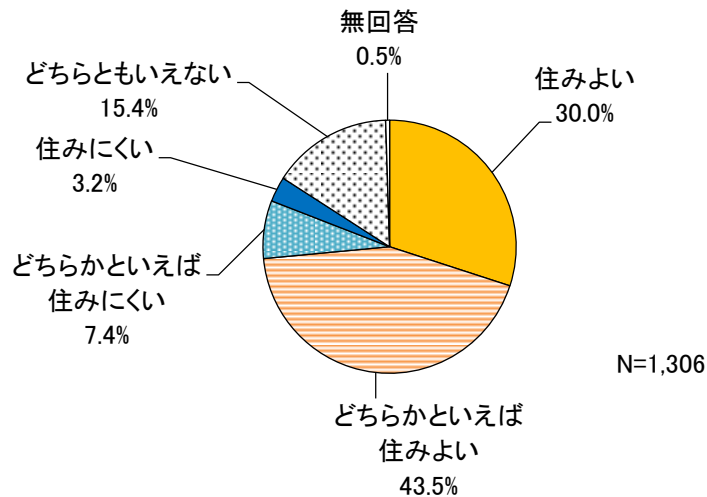
「住みよい」と回答した人の割合が30.0%、「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合が43.5%になっていて、73.5%の人が概ね住みよいと回答しています。

地域別にみますと、「住みよい」又は「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合は、市街地が77.2%で最も高く、次いで中山間地域が68.0%、市街地周辺が66.1%の順になっています。

年齢別にみますと、「住みよい」又は「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合は、40歳代が79.4%で最も高く、次いで60～64歳が75.5%、50歳代と65～74歳が75.4%の順になっています。

居住年数別にみますと、「住みよい」又は「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合は、5～10年未満が76.6%で最も高く、次いで10～20年未満が76.2%、30年以上が74.9%の順になっています。

また、前回までの調査と比較しますと、概ね住みよいと回答した人の割合は、77.4%から3.9%下がっています。



(単位:%)

		回答者(人)	住みよい	どちらかといえ 住みよい	どちらかといえ 住みにくい	住みにくい	どちらとも いえない	無回答
全体		1,306	30.0	43.5	7.4	3.2	15.4	0.5
地域別	市街地	829	32.3	44.9	7.0	2.2	13.5	0.1
	市街地周辺	245	25.7	40.4	10.2	4.5	18.8	0.4
	中山間地域	200	25.0	43.0	5.5	6.0	20.5	0.0
	無回答	32	34.4	34.4	9.4	3.1	6.3	12.5
性別	男性	524	27.9	45.4	8.2	3.1	15.3	0.2
	女性	692	32.2	42.9	6.6	3.0	15.0	0.1
	無回答	90	25.6	36.7	8.9	5.6	18.9	4.4
年齢	18～19歳	23	26.1	39.1	4.3	4.3	26.1	0.0
	20歳代	83	18.1	39.8	8.4	8.4	24.1	1.2
	30歳代	114	28.1	44.7	7.0	5.3	14.9	0.0
	40歳代	199	31.2	48.2	6.5	1.5	12.6	0.0
	50歳代	207	32.4	43.0	10.6	3.4	10.6	0.0
	60～64歳	118	29.7	45.8	7.6	0.0	16.9	0.0
	65～74歳	341	29.9	45.5	6.5	1.5	16.4	0.3
	75歳以上	214	33.6	37.9	6.1	6.1	16.4	0.0
	無回答	7	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	57.1
職業 (雇用形態)	農林漁業	24	25.0	50.0	16.7	4.2	4.2	0.0
	自営業・自由業	96	33.3	45.8	8.3	1.0	11.5	0.0
	正規の従業員・団体職員・公務員	404	30.0	44.6	8.9	3.5	12.9	0.2
	派遣社員・契約社員・パート・アルバイト	215	28.8	48.8	7.0	1.9	13.5	0.0
	学生	31	22.6	45.2	6.5	0.0	25.8	0.0
	家事専業・無職	482	30.5	40.2	6.0	3.9	19.1	0.2
	その他	43	32.6	39.5	7.0	7.0	14.0	0.0
	無回答	11	27.3	18.2	0.0	0.0	18.2	36.4
世帯構成	一人住まい	141	29.1	39.7	5.7	5.7	19.9	0.0
	夫婦のみ	427	27.4	43.8	8.4	2.6	17.6	0.2
	二世帯同居(子どもと同居)	415	37.6	43.1	6.0	2.4	10.8	0.0
	二世帯同居(親と同居)	198	22.2	43.9	10.6	4.5	18.2	0.5
	三世帯同居	70	28.6	48.6	5.7	2.9	14.3	0.0
	その他	24	29.2	33.3	8.3	4.2	25.0	0.0
	無回答	31	22.6	54.8	3.2	3.2	3.2	12.9
居住年数	1年未満	26	15.4	46.2	3.8	3.8	30.8	0.0
	1～5年未満	60	28.3	35.0	10.0	6.7	20.0	0.0
	5～10年未満	47	31.9	44.7	8.5	0.0	14.9	0.0
	10～20年未満	151	31.8	44.4	8.6	3.3	11.9	0.0
	20～30年未満	188	21.8	48.9	9.6	3.7	15.4	0.5
	30年以上	819	31.7	43.2	6.6	2.9	15.4	0.1
	無回答	15	46.7	6.7	6.7	6.7	6.7	26.7

(5) 市民の居住意向と理由【問12】【問13（複数回答可）】

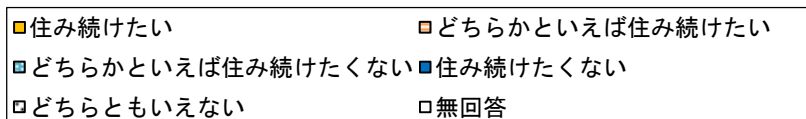
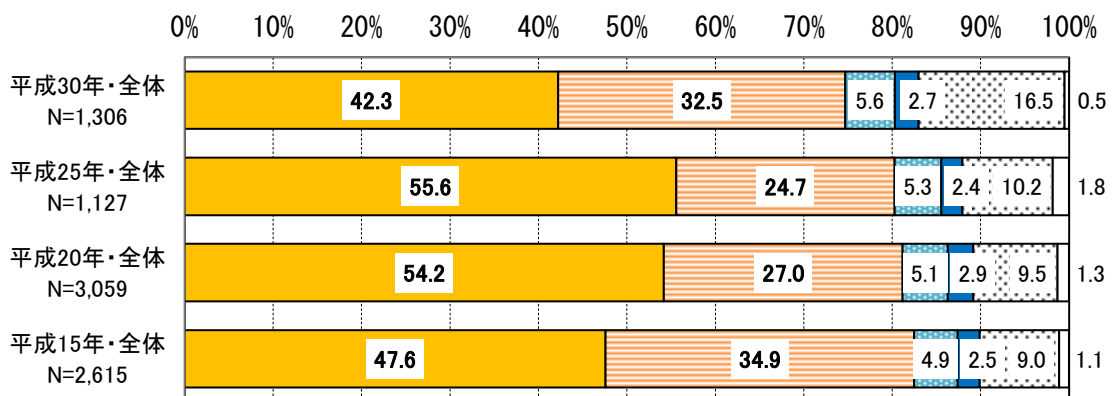
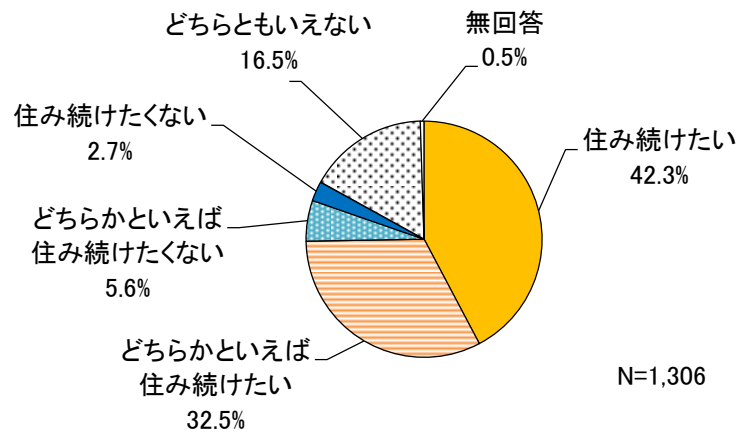
「住み続けたい」と回答した人の割合が42.3%、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の割合が32.5%で、74.8%の人が概ね住み続けたいと回答しています。

地域別にみますと、「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の割合は、市街地が77.2%で最も高く、次いで中山間地域が73.5%、市街地周辺が69.8%の順になっています。

年齢別にみますと、「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の割合は、65～74歳が82.7%で最も高く、次いで60～64歳が82.2%、50歳代が77.8%の順になっています。

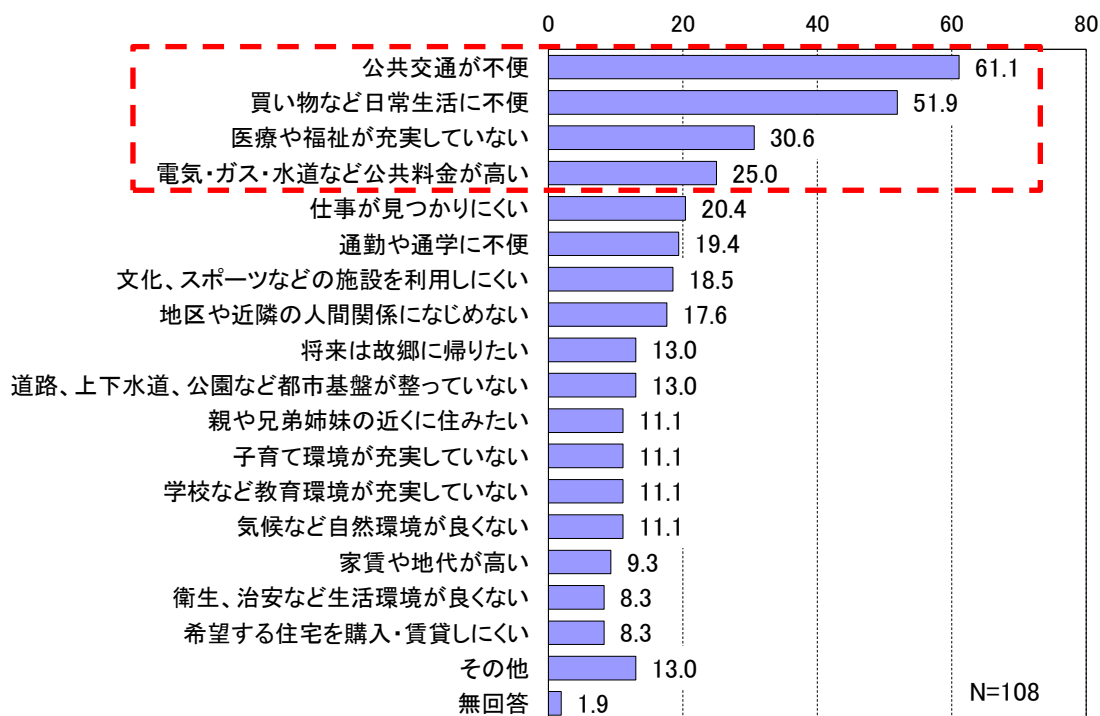
居住年数別にみますと、「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の割合は、30年以上が80.3%で最も高く、次いで5～10年未満が70.2%、20～30年未満が69.1%の順になっています。

また、前回までの調査と比較しますと、概ね住み続けたいと回答した人の割合は、80.3%から5.5%下がっています。



「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した理由は、「公共交通が不便」と回答した人の割合が61.1%で最も高く、次いで「買い物など日常生活に不便」が51.9%、「医療や福祉が充実していない」が30.6%の順になっています。

地域別にみますと、上記の理由は、いずれの地域においても高い割合になっていますが、「公共料金が高い」は市街地と市街地周辺、「通勤・通学に不便」と「仕事が見つかりにくい」は市街地周辺と中山間地域、「人間関係になじめない」は市街地、「施設を利用しにくい」は市街地周辺が、それぞれ高い割合になっています。



(単位: %)

項目	全体	市街地	市街地周辺	中山間地域
公共交通が不便	61.1	51.5	71.4	85.7
買い物など日常生活に不便	51.9	40.9	71.4	85.7
医療や福祉が充実していない	30.6	22.7	38.1	64.3
電気・ガス・水道など公共料金が高い	25.0	24.2	38.1	7.1
仕事が見つかりにくい	20.4	16.7	28.6	21.4
通勤や通学に不便	19.4	7.6	47.6	28.6
文化、スポーツなどの施設を利用しにくい	18.5	15.2	28.6	14.3
地区や近隣の人間関係になじめない	17.6	22.7	9.5	7.1
将来は故郷に帰りたい	13.0	15.2	0.0	0.0
道路、上下水道、公園など都市基盤が整っていない	13.0	13.6	19.0	0.0
親や兄弟姉妹の近くに住みたい	11.1	12.1	0.0	14.3
子育て環境が充実していない	11.1	12.1	9.5	7.1
学校など教育環境が充実していない	11.1	10.6	14.3	7.1
気候など自然環境が良くない	11.1	12.1	4.8	14.3
家賃や地代が高い	9.3	10.6	0.0	7.1
衛生、治安など生活環境が良くない	8.3	7.6	9.5	7.1
希望する住宅を購入・賃貸しにくい	8.3	9.1	4.8	7.1
その他	13.0	15.2	14.3	0.0
無回答	1.9	1.5	0.0	7.1

※ 20%超のものに着色しています。

(単位:%)

		回答者(人)	住み続けたい	どちらかといえ 住み続けたい	ど ち ら か と い え ば 住 み 続 け た く い え ば	住 み 続 け た く い え ば	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
全体		1,306	42.3	32.5	5.6	2.7	16.5	0.5
地域別	市街地	829	43.4	33.8	5.8	2.2	14.8	0.0
	市街地周辺	245	38.4	31.4	5.7	2.9	21.2	0.4
	中山間地域	200	42.5	31.0	2.5	4.5	19.0	0.5
	無回答	32	43.8	15.6	18.8	3.1	6.3	12.5
性別	男性	524	42.6	33.2	6.5	1.7	15.8	0.2
	女性	692	43.6	31.2	5.2	3.0	16.8	0.1
	無回答	90	31.1	37.8	3.3	5.6	17.8	4.4
年齢	18～19歳	23	17.4	34.8	13.0	8.7	26.1	0.0
	20歳代	83	16.9	30.1	14.5	8.4	28.9	1.2
	30歳代	114	30.7	36.0	7.0	3.5	22.8	0.0
	40歳代	199	36.2	37.2	6.5	1.0	19.1	0.0
	50歳代	207	50.7	27.1	4.8	1.9	15.0	0.5
	60～64歳	118	42.4	39.8	3.4	0.8	13.6	0.0
	65～74歳	341	47.8	34.9	2.9	1.5	12.9	0.0
	75歳以上	214	50.9	25.2	5.1	4.7	14.0	0.0
	無回答	7	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	57.1
職業 (雇用形態)	農林漁業	24	54.2	37.5	4.2	4.2	0.0	0.0
	自営業・自由業	96	51.0	28.1	5.2	1.0	14.6	0.0
	正規の従業員・団体職員・公務員	404	38.4	33.4	6.7	3.0	18.3	0.2
	派遣社員・契約社員・パート・アルバイト	215	41.4	33.5	6.0	2.3	16.7	0.0
	学生	31	9.7	38.7	12.9	6.5	32.3	0.0
	家事専業・無職	482	45.2	32.4	4.4	2.9	14.9	0.2
	その他	43	51.2	27.9	4.7	0.0	16.3	0.0
	無回答	11	36.4	9.1	0.0	0.0	18.2	36.4
世帯構成	一人住まい	141	38.3	30.5	5.7	5.0	20.6	0.0
	夫婦のみ	427	44.3	33.7	6.3	1.6	14.1	0.0
	二世帯同居(子どもと同居)	415	46.0	32.5	4.1	2.7	14.7	0.0
	二世帯同居(親と同居)	198	34.8	29.8	8.1	3.5	22.7	1.0
	三世帯同居	70	34.3	41.4	2.9	2.9	18.6	0.0
	その他	24	45.8	20.8	12.5	0.0	20.8	0.0
	無回答	31	48.4	29.0	0.0	3.2	6.5	12.9
居住年数	1年未満	26	30.8	26.9	15.4	0.0	26.9	0.0
	1～5年未満	60	25.0	23.3	20.0	8.3	23.3	0.0
	5～10年未満	47	36.2	34.0	8.5	0.0	21.3	0.0
	10～20年未満	151	29.8	38.4	7.3	4.6	19.9	0.0
	20～30年未満	188	30.3	38.8	7.4	2.7	20.2	0.5
	30年以上	819	49.3	31.0	3.4	2.2	13.9	0.1
	無回答	15	46.7	13.3	0.0	0.0	13.3	26.7

3. 市民の満足度や今後の重要度

本市が取り組む40項目の施策ごとに、現在の満足度や今後の生活にとっての重要度について評価していただきました。

満足度・重要度の分析方法

問14では、以下のとおり選択肢を基に各項目を評価する点数（以下「評価点」という。）をつけて、その平均値で満足度と重要度を比較します。評価点が大きければ満足度（重要度）は高く、小さければ満足度（重要度）は低くなります。

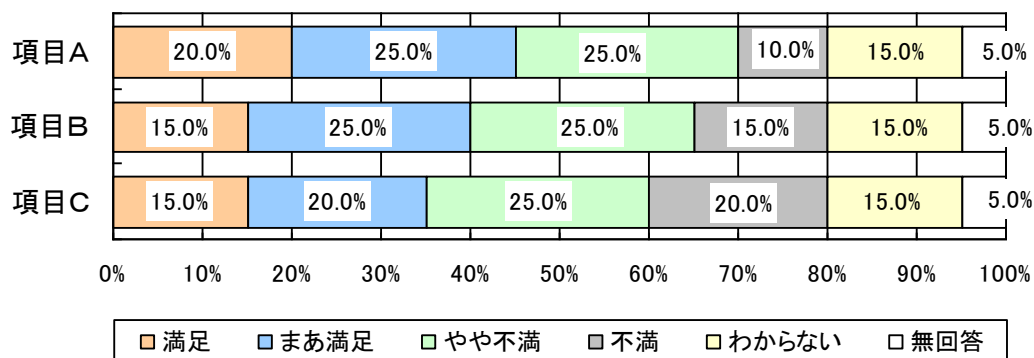
満足度	
選択肢	点数
満足	10
まあ満足	5
どちらともいえない	0
やや不満	-5
不満	-10

重要度	
選択肢	点数
重要	10
やや重要	5
どちらともいえない	0
あまり重要でない	-5
重要でない	-10

●評価点の算出方法（加重平均）※ 満足度を例にしていますが、重要度も同じです。

$$\{ (\text{「満足」の数} \times 10) + (\text{「まあ満足」の数} \times 5) + (\text{「やや不満」の数} \times (-5)) + (\text{「不満」の数} \times (-10)) + (\text{「どちらともいえない」の数} \times 0) \} \div \text{「無回答を除く回答者の数」}$$

例：回答者100人から、以下のような回答結果があった場合



- ・ 項目A … 評価点 1.05 ※項目A～Cのうち Aの満足度が一番高い。
 $\{ (20 \times 10) + (25 \times 5) + (25 \times (-5)) + (10 \times (-10)) + (15 \times 0) \} \div 95 = 1.05$
- ・ 項目B … 評価点 0.00
 $\{ (15 \times 10) + (25 \times 5) + (25 \times (-5)) + (15 \times (-10)) + (15 \times 0) \} \div 95 = 0.00$
- ・ 項目C … 評価点 -0.79 ※項目A～Cのうち Cの満足度が一番低い。
 $\{ (15 \times 10) + (20 \times 5) + (25 \times (-5)) + (20 \times (-10)) + (15 \times 0) \} \div 95 = -0.79$

(1) 現在の満足度について

全体では、「上水道の整備」が最も満足度が高く、次いで「下水道・排水施設の整備」、「消防・救急体制の整備」の順になっていて、地域別にみても同様です。

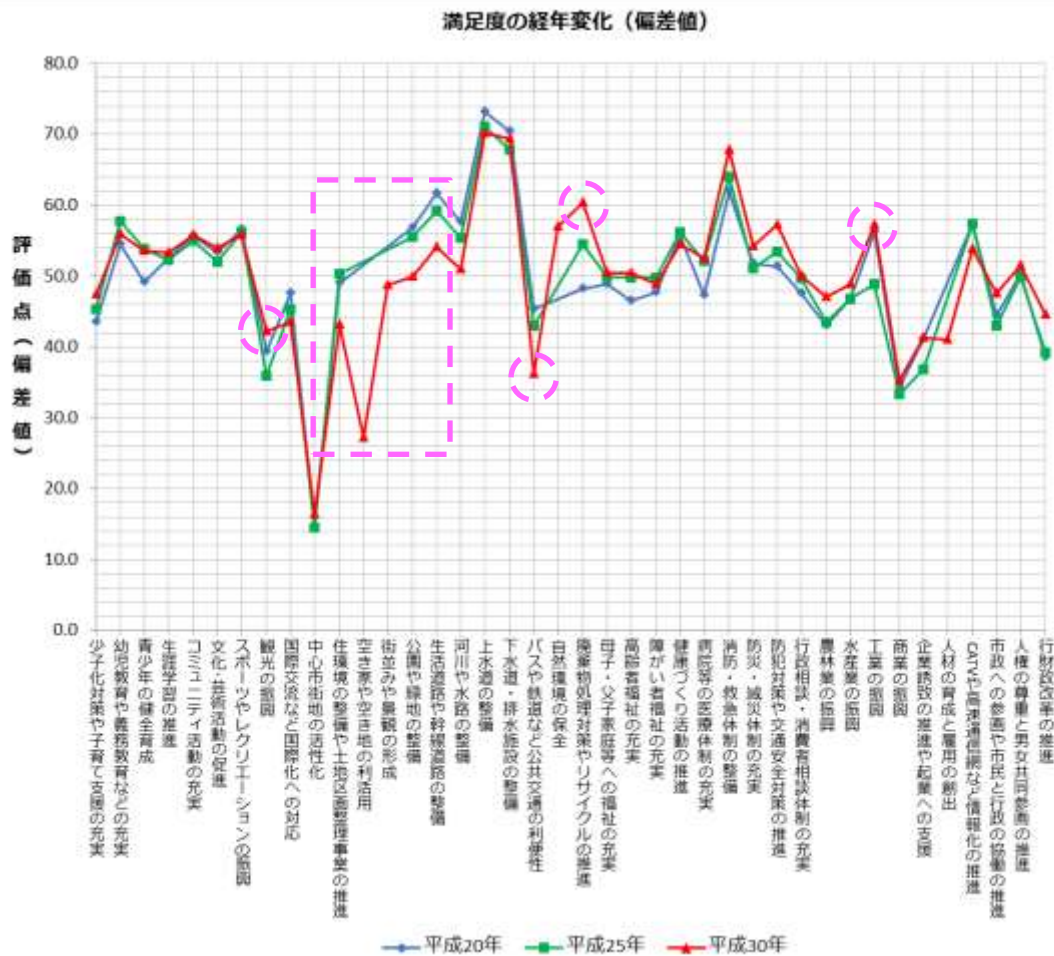
順位	全 体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
1位	上水道の整備	3.04	上水道の整備	3.50	消防・救急体制の整備	2.57	消防・救急体制の整備	2.38
2位	下水道・排水施設の整備	2.94	下水道・排水施設の整備	3.28	上水道の整備	2.48	下水道・排水施設の整備	2.09
3位	消防・救急体制の整備	2.73	消防・救急体制の整備	2.88	下水道・排水施設の整備	2.39	上水道の整備	1.69
4位	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1.76	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1.93	防犯対策や交通安全対策の推進	1.42	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1.49
5位	防犯対策や交通安全対策の推進	1.34	自然環境の保全	1.59	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1.40	防犯対策や交通安全対策の推進	1.17
6位	工業の振興	1.34	生活道路や幹線道路の整備	1.50	工業の振興	1.39	健康づくり活動の推進	1.17
7位	自然環境の保全	1.31	工業の振興	1.47	スポーツやレクリエーションの振興	1.15	コミュニティ活動の充実	1.15
8位	幼児教育や義務教育などの充実	1.17	防犯対策や交通安全対策の推進	1.38	幼児教育や義務教育などの充実	0.98	スポーツやレクリエーションの振興	1.12
9位	スポーツやレクリエーションの振興	1.16	幼児教育や義務教育などの充実	1.32	健康づくり活動の推進	0.95	生涯学習の推進	0.98
10位	コミュニティ活動の充実	1.16	コミュニティ活動の充実	1.24	防災・減災体制の充実	0.93	CATVや高速通信網など情報化の推進	0.96

逆に、満足度が低い項目としては、「中心市街地の活性化」が最も満足度が低く、次いで「空き家や空き地の利活用」、「商業の振興」の順になっています。

地域別にみますと、中山間地域では、市街地と市街地周辺において最も低い「中心市街地の活性化」よりも「空き家や空き地の利活用」と「公共交通の利便性」のほうが低くなっています。

順位	全 体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
40位	中心市街地の活性化	-4.02	中心市街地の活性化	-4.55	中心市街地の活性化	-3.07	空き家や空き地の利活用	-2.94
39位	空き家や空き地の利活用	-2.58	空き家や空き地の利活用	-2.49	バスや鉄道など公共交通の利便性	-2.87	バスや鉄道など公共交通の利便性	-2.91
38位	商業の振興	-1.52	商業の振興	-1.61	空き家や空き地の利活用	-2.66	中心市街地の活性化	-2.74
37位	バスや鉄道など公共交通の利便性	-1.42	人材の育成と雇用の創出	-0.94	商業の振興	-1.39	商業の振興	-1.45
36位	人材の育成と雇用の創出	-0.77	企業誘致の推進や起業への支援	-0.82	観光の振興	-0.81	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-1.06
35位	企業誘致の推進や起業への支援	-0.74	バスや鉄道など公共交通の利便性	-0.64	企業誘致の推進や起業への支援	-0.58	国際交流など国際化への対応	-0.78
34位	観光の振興	-0.62	観光の振興	-0.63	国際交流など国際化への対応	-0.45	人材の育成と雇用の創出	-0.73
33位	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-0.49	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-0.39	河川や水路の整備	-0.44	農林業の振興	-0.70
32位	国際交流など国際化への対応	-0.44	国際交流など国際化への対応	-0.35	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-0.38	生活道路や幹線道路の整備	-0.66
31位	行財政改革の推進	-0.31	行財政改革の推進	-0.32	人材の育成と雇用の創出	-0.37	少子化対策や子育て支援の充実	-0.64

満足度の経年変化をみますと、「工業の振興」や「観光の振興」、「廃棄物処理対策等」などの満足度が改善している一方、「住環境の整備等」や「公共交通の利便性」、「公園や緑地の整備」などの満足度は下がっています。



※「空き家や空き地の利活用」と「街並みや景観の形成」、「人材の育成と雇用の創出」は、今回の調査から新規に追加した項目です。

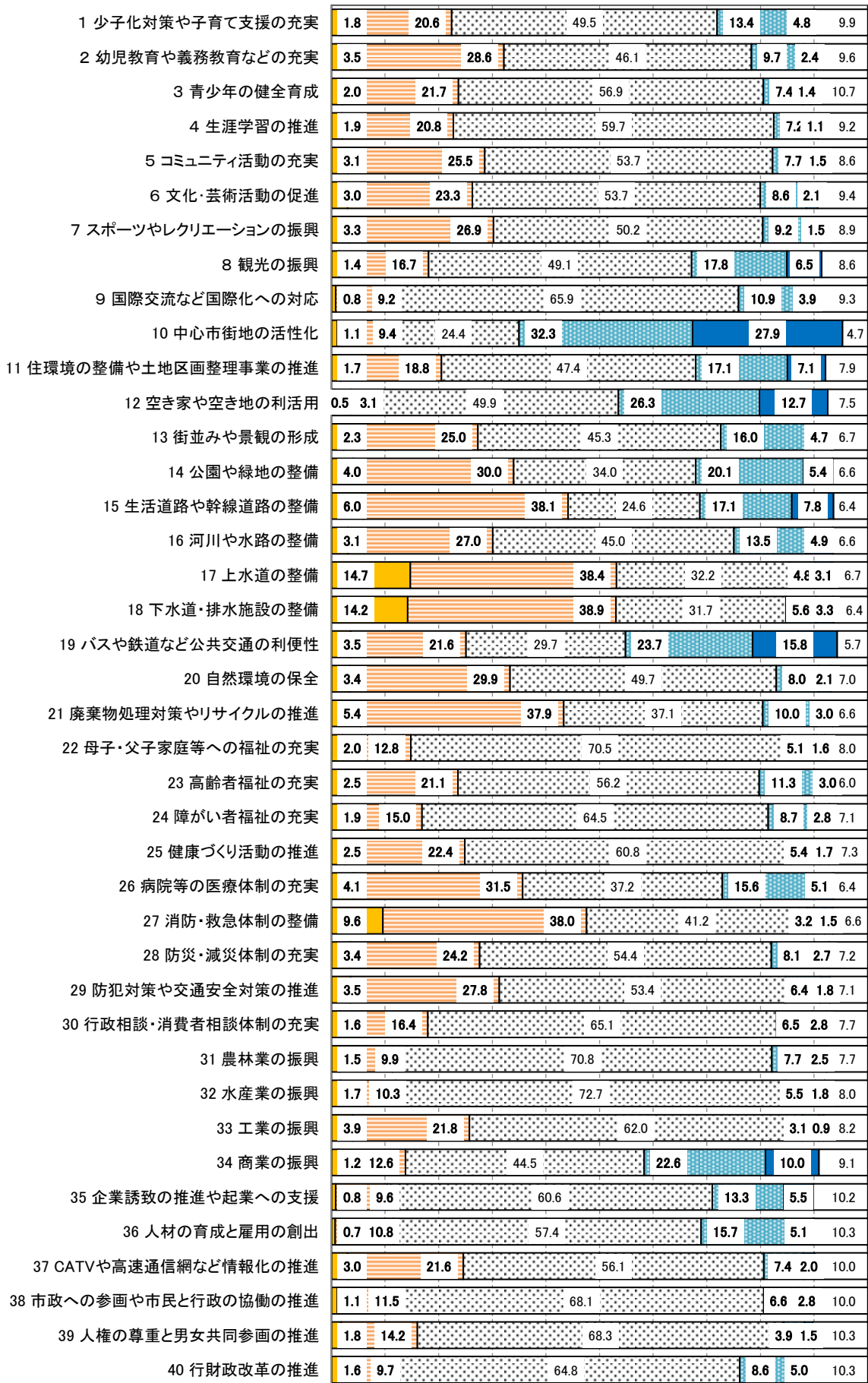
※前回までの調査項目「廃棄物処理対策や自然環境への取り組み」については、今回の調査から「自然環境の保全」と「廃棄物処理対策やリサイクルの推進」に分けました。

項目	平成30年 N=1,306		平成25年 N=1,127		平成20年 N=3,059	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 少子化対策や子育て支援の充実	0.06	29	-0.61	28	-1.24	30
2 幼児教育や義務教育などの充実	1.17	8	1.66	5	0.70	12
3 青少年の健全育成	0.87	16	0.95	13	-0.25	18
4 生涯学習の推進	0.83	17	0.66	15	0.36	14
5 コミュニティ活動の充実	1.16	10	1.16	11	0.90	11
6 文化・芸術活動の促進	0.91	14	0.60	17	0.50	13
7 スポーツやレクリエーションの振興	1.16	9	1.36	8	1.06	8
8 観光の振興	-0.62	34	-2.29	34	-1.99	33
9 国際交流など国際化への対応	-0.44	32	-0.59	27	-0.52	23
10 中心市街地の活性化	-4.02	40	-6.19	36	-6.35	36
11 住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-0.49	33	0.30	19	-0.28	19
12 空き家や空き地の利活用	-2.58	39				
13 街並みや景観の形成	0.23	27				
14 公園や緑地の整備	0.39	24	1.26	9	1.12	7
15 生活道路や幹線道路の整備	0.93	13	1.90	4	1.97	4
16 河川や水路の整備	0.52	20	1.22	10	1.25	5
17 上水道の整備	3.04	1	4.07	1	4.01	1
18 下水道・排水施設の整備	2.94	2	3.49	2	3.53	2
19 バスや鉄道など公共交通の利便性	-1.42	37	-1.02	30	-0.91	28
20 自然環境の保全	1.31	7				
21 廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1.76	4	1.06	12	-0.40	21
22 母子・父子家庭等への福祉の充実	0.46	22	0.24	20	-0.29	20
23 高齢者福祉の充実	0.46	21	0.21	23	-0.72	27
24 障がい者福祉の充実	0.25	26	0.21	22	-0.51	22
25 健康づくり活動の推進	1.00	11	1.36	7	0.90	10
26 病院等の医療体制の充実	0.74	18	0.63	16	-0.57	25
27 消防・救急体制の整備	2.73	3	2.80	3	2.01	3
28 防災・減災体制の充実	0.95	12	0.44	18	0.21	15
29 防犯対策や交通安全対策の推進	1.34	5	0.87	14	0.14	16
30 行政相談・消費者相談体制の充実	0.41	23	0.18	24	-0.52	23
31 農林業の振興	0.00	30	-0.92	29	-1.34	31
32 水産業の振興	0.25	25	-0.33	26	-0.66	26
33 工業の振興	1.34	6	0.04	25	1.01	9
34 商業の振興	-1.52	38	-2.77	35	-2.88	35
35 企業誘致の推進や起業への支援	-0.74	35	-2.14	33	-1.66	32
36 人材の育成と雇用の創出	-0.77	36				
37 CATVや高速通信網など情報化の推進	0.90	15	1.58	6	1.21	6
38 市政への参画や市民と行政の協働の推進	0.09	28	-1.03	31	-1.08	29
39 人権の尊重と男女共同参画の推進	0.60	19	0.23	21	-0.04	17
40 行財政改革の推進	-0.31	31	-1.70	32	-2.12	34
満足度評価の平均点	0.40	*	0.25	*	-0.10	*
41 周南市のまちづくりの総合的な満足度	0.67	*	-1.24	*	-0.95	*

※前回調査と比較して、評価点の偏差値の差が3超あるものに着色しています。

項目	全体		市街地		市街地周辺		中山間地域		
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	
1	少子化対策や子育て支援の充実	0.06	29	0.25	27	0.00	27	-0.64	31
2	幼児教育や義務教育などの充実	1.17	8	1.32	9	0.98	8	0.83	12
3	青少年の健全育成	0.87	16	0.93	18	0.84	14	0.68	14
4	生涯学習の推進	0.83	17	0.76	19	0.89	12	0.98	9
5	コミュニティ活動の充実	1.16	10	1.24	10	0.84	13	1.15	7
6	文化・芸術活動の促進	0.91	14	1.01	16	0.67	16	0.75	13
7	スポーツやレクリエーションの振興	1.16	9	1.17	11	1.15	7	1.12	8
8	観光の振興	-0.62	34	-0.63	34	-0.81	36	-0.29	26
9	国際交流など国際化への対応	-0.44	32	-0.35	32	-0.45	34	-0.78	35
10	中心市街地の活性化	-4.02	40	-4.55	40	-3.07	40	-2.74	38
11	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-0.49	33	-0.39	33	-0.38	32	-1.06	36
12	空き家や空き地の利活用	-2.58	39	-2.49	39	-2.66	38	-2.94	40
13	街並みや景観の形成	0.23	27	0.25	28	0.26	26	0.25	21
14	公園や緑地の整備	0.39	24	0.48	22	0.69	15	-0.53	28
15	生活道路や幹線道路の整備	0.93	13	1.50	6	0.37	23	-0.66	32
16	河川や水路の整備	0.52	20	1.04	14	-0.44	33	-0.58	29
17	上水道の整備	3.04	1	3.50	1	2.48	2	1.69	3
18	下水道・排水施設の整備	2.94	2	3.28	2	2.39	3	2.09	2
19	バスや鉄道など公共交通の利便性	-1.42	37	-0.64	35	-2.87	39	-2.91	39
20	自然環境の保全	1.31	7	1.59	5	0.90	11	0.67	15
21	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1.76	4	1.93	4	1.40	5	1.49	4
22	母子・父子家庭等への福祉の充実	0.46	22	0.56	21	0.46	19	0.11	22
23	高齢者福祉の充実	0.46	21	0.43	24	0.41	22	0.63	16
24	障がい者福祉の充実	0.25	26	0.27	26	0.60	18	-0.22	25
25	健康づくり活動の推進	1.00	11	0.99	17	0.95	9	1.17	6
26	病院等の医療体制の充実	0.74	18	1.16	12	-0.13	29	0.33	19
27	消防・救急体制の整備	2.73	3	2.88	3	2.57	1	2.38	1
28	防災・減災体制の充実	0.95	12	1.02	15	0.93	10	0.59	17
29	防犯対策や交通安全対策の推進	1.34	5	1.38	8	1.42	4	1.17	5
30	行政相談・消費者相談体制の充実	0.41	23	0.44	23	0.45	20	0.33	20
31	農林業の振興	0.00	30	0.19	29	-0.12	28	-0.70	33
32	水産業の振興	0.25	25	0.30	25	0.35	24	-0.09	24
33	工業の振興	1.34	6	1.47	7	1.39	6	0.88	11
34	商業の振興	-1.52	38	-1.61	38	-1.39	37	-1.45	37
35	企業誘致の推進や起業への支援	-0.74	35	-0.82	36	-0.58	35	-0.59	30
36	人材の育成と雇用の創出	-0.77	36	-0.94	37	-0.37	31	-0.73	34
37	CATVや高速通信網など情報化の推進	0.90	15	1.04	13	0.45	21	0.96	10
38	市政への参画や市民と行政の協働の推進	0.09	28	0.04	30	0.28	25	0.06	23
39	人権の尊重と男女共同参画の推進	0.60	19	0.59	20	0.63	17	0.47	18
40	行財政改革の推進	-0.31	31	-0.32	31	-0.33	30	-0.32	27
	満足度評価の平均点（項目1～40）	0.40	*	0.51	*	0.28	*	0.09	*
41	周南市のまちづくりの総合的な満足度	0.67	*	0.67	*	0.65	*	0.59	*

N=1,306 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

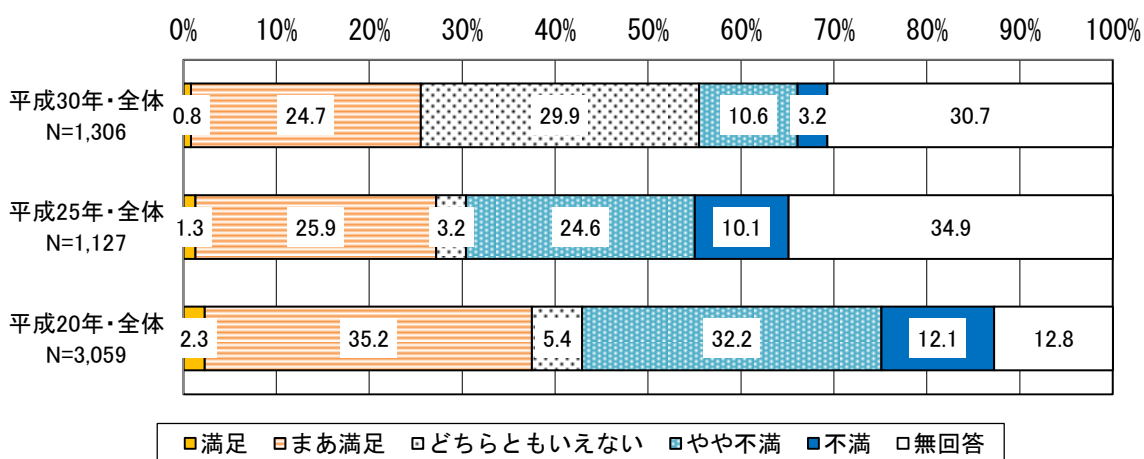


■満足 □まあ満足 □どちらともいえない ■やや不満 ■不満 □無回答

(2) 周南市のまちづくりの総合的な満足度について

「満足」又は「まあ満足」と回答した人の割合は25.5%、「やや不満」又は「不満」と回答した人の割合は13.8%で、「満足」又は「まあ満足」と回答した人が11.7%上回っています。

前回までの調査と比較しますと、「やや不満」又は「不満」と回答した人の割合が、40%前後から大きく減少しています。



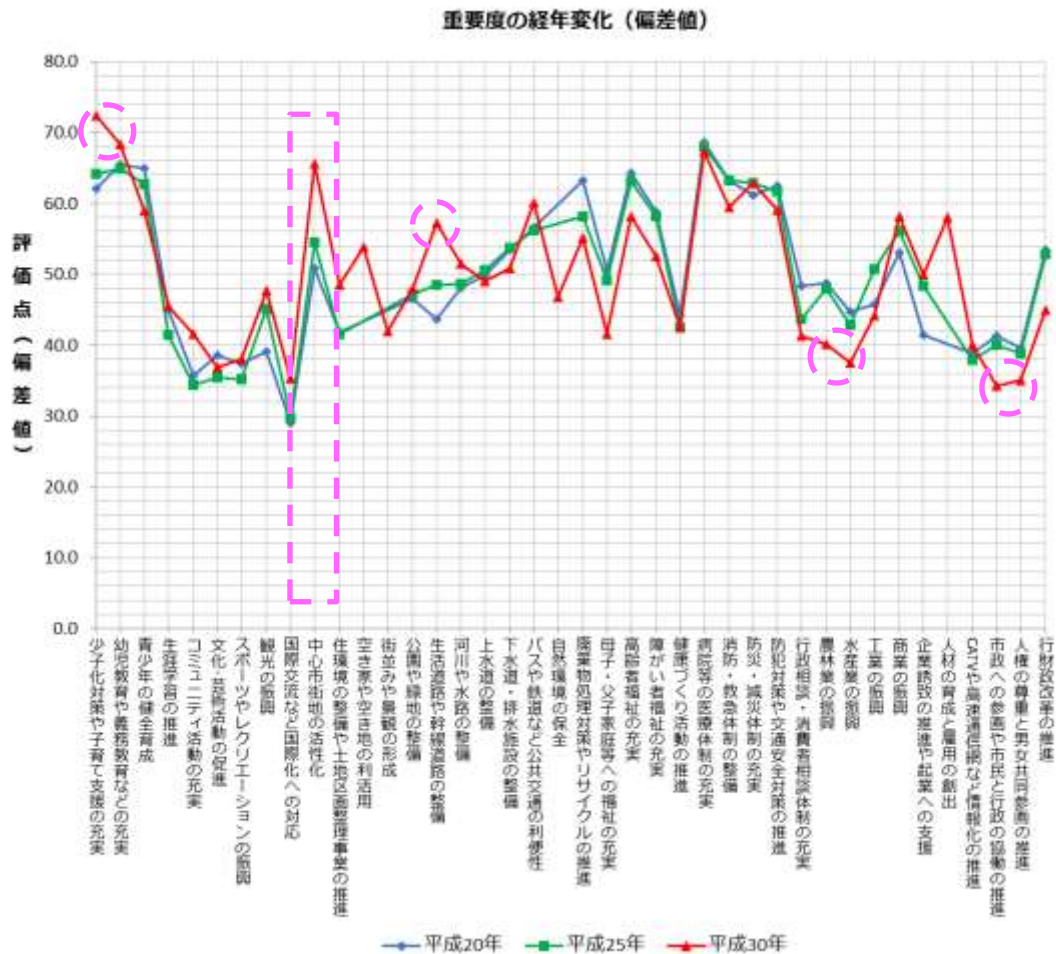
(3) 今後の生活にとっての重要度について

全体では、「少子化対策や子育て支援の充実」が最も重要度が高く、次いで「幼児教育や義務教育などの充実」、「病院等の医療体制の充実」、「中心市街地の活性化」、「防災・減災体制の充実」の順になっています。

地域別にみますと、「少子化対策や子育て支援の充実」と「幼児教育や義務教育などの充実」は、いずれの地域においても重要度が高くなっています。

順位	全 体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
1位	少子化対策や子育て支援の充実	7.06	少子化対策や子育て支援の充実	7.11	少子化対策や子育て支援の充実	6.53	少子化対策や子育て支援の充実	7.57
2位	幼児教育や義務教育などの充実	6.60	中心市街地の活性化	6.83	病院等の医療体制の充実	6.38	病院等の医療体制の充実	7.29
3位	病院等の医療体制の充実	6.49	幼児教育や義務教育などの充実	6.62	幼児教育や義務教育などの充実	6.25	幼児教育や義務教育などの充実	7.01
4位	中心市街地の活性化	6.29	病院等の医療体制の充実	6.35	防犯対策や交通安全対策の推進	6.09	防災・減災体制の充実	6.54
5位	防災・減災体制の充実	5.98	防災・減災体制の充実	5.92	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.92	生活道路や幹線道路の整備	6.47
6位	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.68	青少年の健全育成	5.69	防災・減災体制の充実	5.92	消防・救急体制の整備	6.28
7位	消防・救急体制の整備	5.59	商業の振興	5.68	生活道路や幹線道路の整備	5.86	高齢者福祉の充実	6.00
8位	防犯対策や交通安全対策の推進	5.55	人材の育成と雇用の創出	5.60	消防・救急体制の整備	5.68	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.97
9位	青少年の健全育成	5.54	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.55	高齢者福祉の充実	5.46	河川や水路の整備	5.77
10位	商業の振興	5.45	防犯対策や交通安全対策の推進	5.43	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	5.18	障がい者福祉の充実	5.67
11位	高齢者福祉の充実	5.45	消防・救急体制の整備	5.43	青少年の健全育成	5.12	空き家や空き地の利活用	5.59
12位	人材の育成と雇用の創出	5.43	高齢者福祉の充実	5.34	下水道・排水施設の整備	5.02	防犯対策や交通安全対策の推進	5.56
13位	生活道路や幹線道路の整備	5.34	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	5.08	中心市街地の活性化	4.98	人材の育成と雇用の創出	5.49
14位	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	5.11	生活道路や幹線道路の整備	4.97	障がい者福祉の充実	4.98	青少年の健全育成	5.48
15位	空き家や空き地の利活用	4.95	空き家や空き地の利活用	4.87	商業の振興	4.98	中心市街地の活性化	5.37

重要度の経年変化をみますと、「少子化対策や子育て支援の充実」や「幼児教育や義務教育などの充実」、「中心市街地の活性化」などの重要度が上昇している一方、「農林業の振興」や「水産業の振興」、「市民参画等」などの重要度は下がっています。



※「空き家や空き地の利活用」と「街並みや景観の形成」、「人材の育成と雇用の創出」は、今回の調査から新規に追加した項目です。

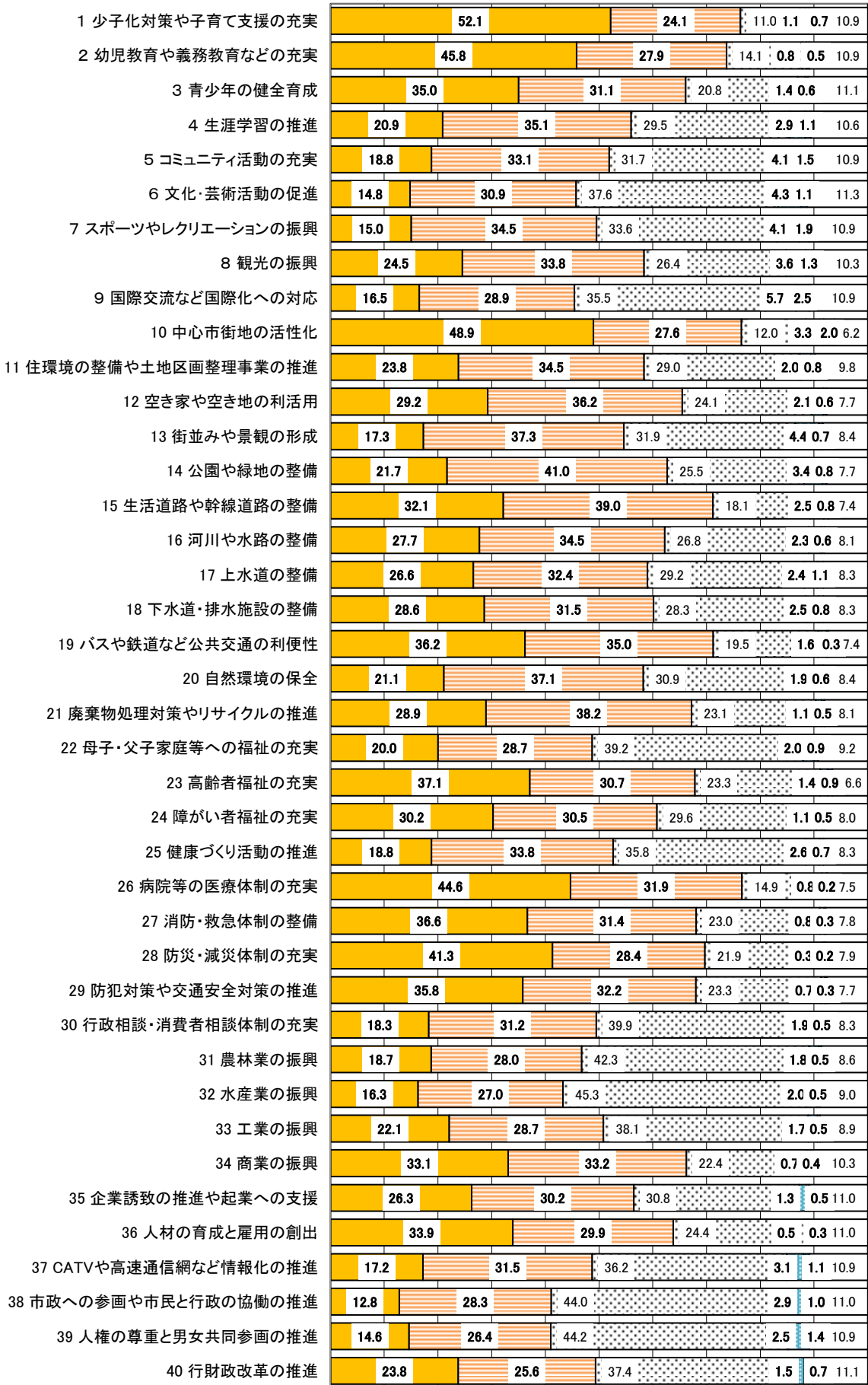
※前回までの調査項目「廃棄物処理対策や自然環境への取り組み」については、今回の調査から「自然環境の保全」と「廃棄物処理対策やリサイクルの推進」に分けました。

項目		平成30年 N=1,306		平成25年 N=1,127		平成20年 N=3,059	
		評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1	少子化対策や子育て支援の充実	7.06	1	7.04	3	6.86	8
2	幼児教育や義務教育などの充実	6.60	2	7.14	2	7.37	2
3	青少年の健全育成	5.54	9	6.86	7	7.30	3
4	生涯学習の推進	4.02	25	4.10	29	4.26	23
5	コミュニティ活動の充実	3.57	30	3.20	35	2.85	35
6	文化・芸術活動の促進	3.04	37	3.34	33	3.29	33
7	スポーツやレクリエーションの振興	3.17	35	3.30	34	3.10	34
8	観光の振興	4.27	23	4.57	24	3.37	31
9	国際交流など国際化への対応	2.87	38	2.61	36	1.84	36
10	中心市街地の活性化	6.29	4	5.79	13	5.16	15
11	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	4.35	21	4.11	28	3.78	27
12	空き家や空き地の利活用	4.95	15				
13	街並みや景観の形成	3.61	29				
14	公園や緑地の整備	4.29	22	4.85	23	4.50	21
15	生活道路や幹線道路の整備	5.34	13	5.02	20	4.06	26
16	河川や水路の整備	4.70	17	5.04	19	4.73	20
17	上水道の整備	4.42	20	5.28	17	5.00	17
18	下水道・排水施設の整備	4.63	18	5.68	14	5.55	12
19	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.68	6	6.02	11	6.02	11
20	自然環境の保全	4.16	24				
21	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	5.11	14	6.26	9	7.04	6
22	母子・父子家庭等への福祉の充実	3.57	31	5.09	18	5.10	16
23	高齢者福祉の充実	5.45	11	6.89	5	7.19	4
24	障がい者福祉の充実	4.82	16	6.25	10	6.36	10
25	健康づくり活動の推進	3.67	28	4.24	27	4.14	25
26	病院等の医療体制の充実	6.49	3	7.52	1	7.85	1
27	消防・救急体制の整備	5.59	7	6.92	4	7.05	5
28	防災・減災体制の充実	5.98	5	6.87	6	6.73	9
29	防犯対策や交通安全対策の推進	5.55	8	6.72	8	6.92	7
30	行政相談・消費者相談体制の充実	3.54	32	4.40	25	4.78	19
31	農林業の振興	3.42	33	4.95	22	4.84	18
32	水産業の振興	3.11	36	4.29	26	4.21	24
33	工業の振興	3.86	27	5.30	16	4.37	22
34	商業の振興	5.45	10	5.99	12	5.48	14
35	企業誘致の推進や起業への支援	4.52	19	4.99	21	3.73	28
36	人材の育成と雇用の創出	5.43	12				
37	CATVや高速通信網など情報化の推進	3.40	34	3.65	32	3.33	32
38	市政への参画や市民と行政の協働の推進	2.75	40	3.92	30	3.71	29
39	人権の尊重と男女共同参画の推進	2.83	39	3.76	31	3.45	30
40	行財政改革の推進	3.96	26	5.58	15	5.54	13
重要度評価の平均点		4.53	*	5.21	*	5.02	*

※前回調査と比較して、評価点の偏差値の差が3超あるものに着色しています。

項目	全 体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 少子化対策や子育て支援の充実	7.06	1	7.11	1	6.53	1	7.57	1
2 幼児教育や義務教育などの充実	6.60	2	6.62	3	6.25	3	7.01	3
3 青少年の健全育成	5.54	9	5.69	6	5.12	11	5.48	14
4 生涯学習の推進	4.02	25	4.08	25	3.58	29	4.18	26
5 コミュニティ活動の充実	3.57	30	3.42	30	3.43	30	4.41	22
6 文化・芸術活動の促進	3.04	37	3.12	37	2.48	39	3.28	34
7 スポーツやレクリエーションの振興	3.17	35	3.28	34	2.59	37	3.20	38
8 観光の振興	4.27	23	4.38	22	3.72	25	4.48	21
9 国際交流など国際化への対応	2.87	38	2.98	38	2.64	36	2.57	40
10 中心市街地の活性化	6.29	4	6.83	2	4.98	13	5.37	15
11 住環境の整備や土地区画整理事業の推進	4.35	21	4.45	20	4.05	20	4.26	24
12 空き家や空き地の利活用	4.95	15	4.87	15	4.75	19	5.59	11
13 街並みや景観の形成	3.61	29	3.97	28	2.69	35	3.27	35
14 公園や緑地の整備	4.29	22	4.50	18	3.69	27	4.16	27
15 生活道路や幹線道路の整備	5.34	13	4.97	14	5.86	7	6.47	5
16 河川や水路の整備	4.70	17	4.42	21	4.93	17	5.77	9
17 上水道の整備	4.42	20	4.23	24	4.89	18	4.91	19
18 下水道・排水施設の整備	4.63	18	4.46	19	5.02	12	5.09	17
19 バスや鉄道など公共交通の利便性	5.68	6	5.55	9	5.92	5	5.97	8
20 自然環境の保全	4.16	24	4.28	23	3.90	22	4.13	28
21 廃棄物処理対策やリサイクルの推進	5.11	14	5.08	13	5.18	10	5.25	16
22 母子・父子家庭等への福祉の充実	3.57	31	3.40	31	3.70	26	4.21	25
23 高齢者福祉の充実	5.45	11	5.34	12	5.46	9	6.00	7
24 障がい者福祉の充実	4.82	16	4.62	17	4.98	14	5.67	10
25 健康づくり活動の推進	3.67	28	3.58	29	3.63	28	4.33	23
26 病院等の医療体制の充実	6.49	3	6.35	4	6.38	2	7.29	2
27 消防・救急体制の整備	5.59	7	5.43	11	5.68	8	6.28	6
28 防災・減災体制の充実	5.98	5	5.92	5	5.92	6	6.54	4
29 防犯対策や交通安全対策の推進	5.55	8	5.43	10	6.09	4	5.56	12
30 行政相談・消費者相談体制の充実	3.54	32	3.39	32	3.89	23	3.94	32
31 農林業の振興	3.42	33	3.23	36	3.33	33	4.53	20
32 水産業の振興	3.11	36	3.24	35	2.77	34	3.07	39
33 工業の振興	3.86	27	4.01	27	3.40	32	3.94	31
34 商業の振興	5.45	10	5.68	7	4.98	15	5.06	18
35 企業誘致の推進や起業への支援	4.52	19	4.81	16	4.00	21	4.08	29
36 人材の育成と雇用の創出	5.43	12	5.60	8	4.98	16	5.49	13
37 CATVや高速通信網など情報化の推進	3.40	34	3.28	33	3.40	31	3.90	33
38 市政への参画や市民と行政の協働の推進	2.75	40	2.69	40	2.55	38	3.27	36
39 人権の尊重と男女共同参画の推進	2.83	39	2.90	39	2.32	40	3.26	37
40 行財政改革の推進	3.96	26	4.03	26	3.74	24	4.08	30
重要度評価の平均点（項目1～40）	4.53	*	4.53	*	4.33	*	4.82	*

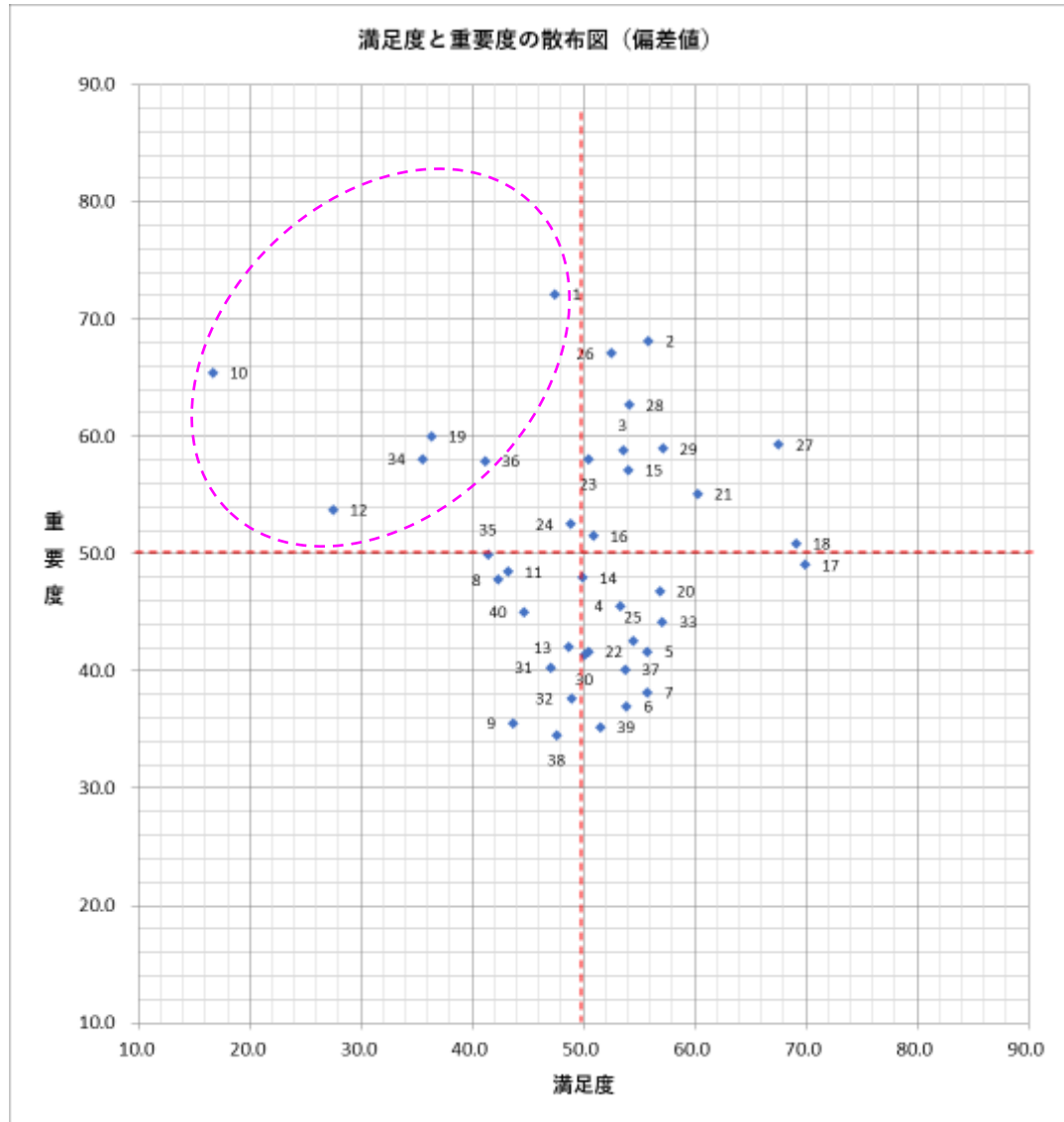
N=1,306 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■重要 □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要ではない ■重要ではない □無回答

(4) 満足度と重要度に関する分析

満足度と重要度との関係性をみますと、重要度が高いのに満足度は低い取組は、「中心市街地の活性化」や「空き家や空き地の活用」、「商業の振興」、「公共交通の利便性」、「人材の育成と雇用の創出」、「少子化対策や子育て支援の充実」となっており、今後のまちづくりにおいて重点的に取り組む必要があると考えられます。



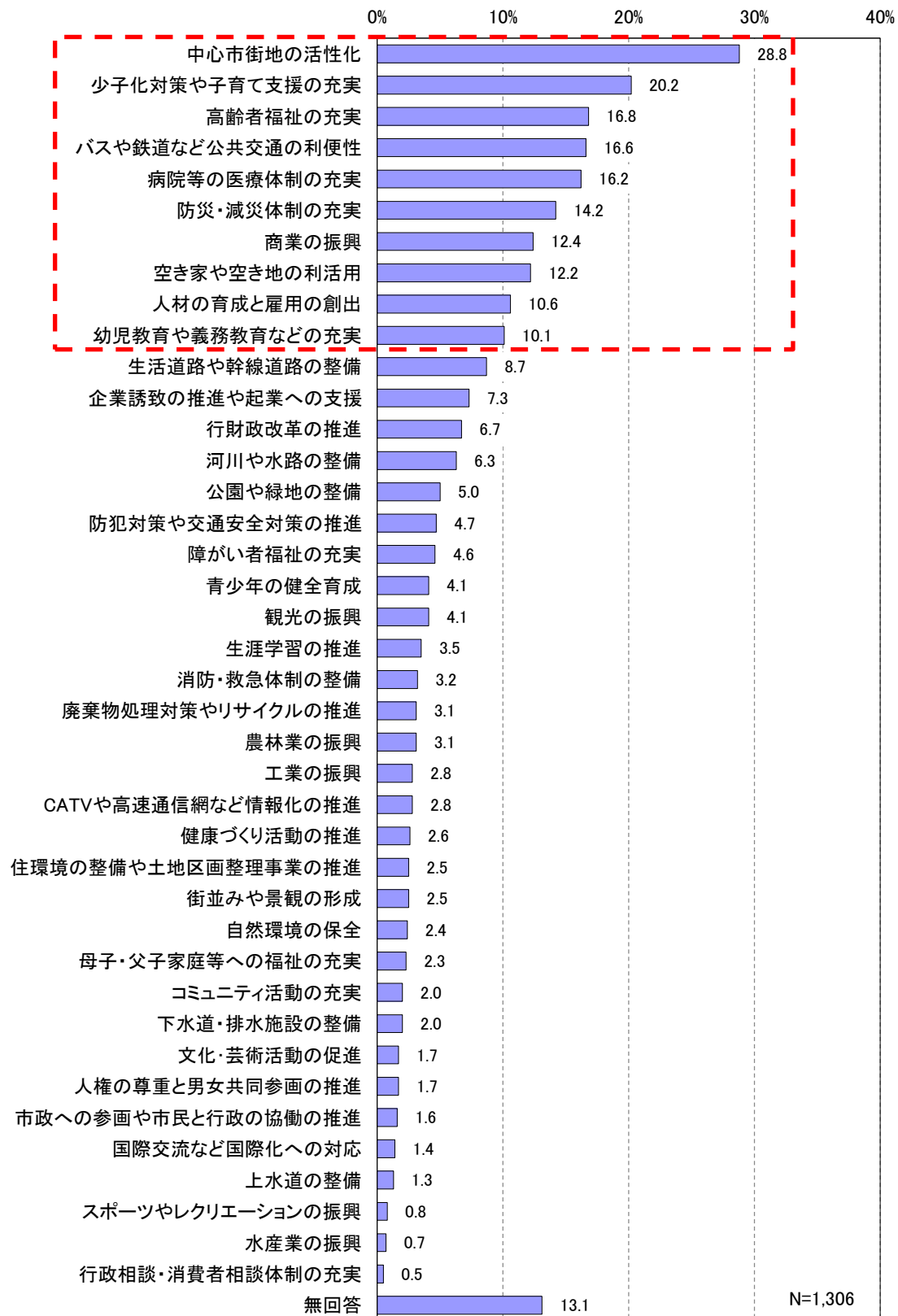
番号	項目	番号	項目	番号	項目
1	少子化対策や子育て支援の充実	16	河川や水路の整備	31	農林業の振興
2	幼児教育や義務教育などの充実	17	上水道の整備	32	水産業の振興
3	青少年の健全育成	18	下水道・排水施設の整備	33	工業の振興
4	生涯学習の推進	19	バスや鉄道など公共交通の利便性	34	商業の振興
5	コミュニティ活動の充実	20	自然環境の保全	35	企業誘致の推進や起業への支援
6	文化・芸術活動の促進	21	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	36	人材の育成と雇用の創出
7	スポーツやレクリエーションの振興	22	母子・父子家庭等への福祉の充実	37	CATVや高速通信網など情報化の推進
8	観光の振興	23	高齢者福祉の充実	38	市政への参画や市民と行政の協働の推進
9	国際交流など国際化への対応	24	障がい者福祉の充実	39	人権の尊重と男女共同参画の推進
10	中心市街地の活性化	25	健康づくり活動の推進	40	行財政改革の推進
11	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	26	病院等の医療体制の充実		
12	空き家や空き地の活用	27	消防・救急体制の整備		
13	街並みや景観の形成	28	防災・減災体制の充実		
14	公園や緑地の整備	29	防犯対策や交通安全対策の推進		
15	生活道路や幹線道路の整備	30	行政相談・消費者相談体制の充実		

(5) 今後のまちづくりにおける重要度について

40項目の取組のうち、今後のまちづくりにおいて重要度が高い上位3項目の選択率は、「中心市街地の活性化」が28.8%で最も多く、次いで「少子化対策や子育て支援の充実」が20.2%、「高齢者福祉の充実」が16.8%、「バスや鉄道など公共交通の利便性」が16.6%、「病院等の医療体制の充実」が16.2%の順になっています。

(単位:%)

順位	全体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合	項目	割合
1位	中心市街地の活性化	28.8	中心市街地の活性化	36.1	バスや鉄道など公共交通の利便性	20.0	少子化対策や子育て支援の充実	23.5
2位	少子化対策や子育て支援の充実	20.2	少子化対策や子育て支援の充実	20.6	病院等の医療体制の充実	19.6	病院等の医療体制の充実	18.5
3位	高齢者福祉の充実	16.8	高齢者福祉の充実	16.8	高齢者福祉の充実	18.0	空き家や空き地の利活用	17.0
4位	バスや鉄道など公共交通の利便性	16.6	バスや鉄道など公共交通の利便性	15.7	少子化対策や子育て支援の充実	16.3	バスや鉄道など公共交通の利便性	16.5
5位	病院等の医療体制の充実	16.2	病院等の医療体制の充実	15.0	中心市街地の活性化	15.5	高齢者福祉の充実	16.5
6位	防災・減災体制の充実	14.2	防災・減災体制の充実	14.2	防災・減災体制の充実	15.1	中心市街地の活性化	14.0
7位	商業の振興	12.4	商業の振興	13.8	空き家や空き地の利活用	14.7	防災・減災体制の充実	13.0
8位	空き家や空き地の利活用	12.2	人材の育成と雇用の創出	11.6	商業の振興	13.1	人材の育成と雇用の創出	12.5
9位	人材の育成と雇用の創出	10.6	幼児教育や義務教育などの充実	11.1	生活道路や幹線道路の整備	10.2	生活道路や幹線道路の整備	12.0
10位	幼児教育や義務教育などの充実	10.1	空き家や空き地の利活用	10.1	行財政改革の推進	9.0	河川や水路の整備	10.5



(単位：%)

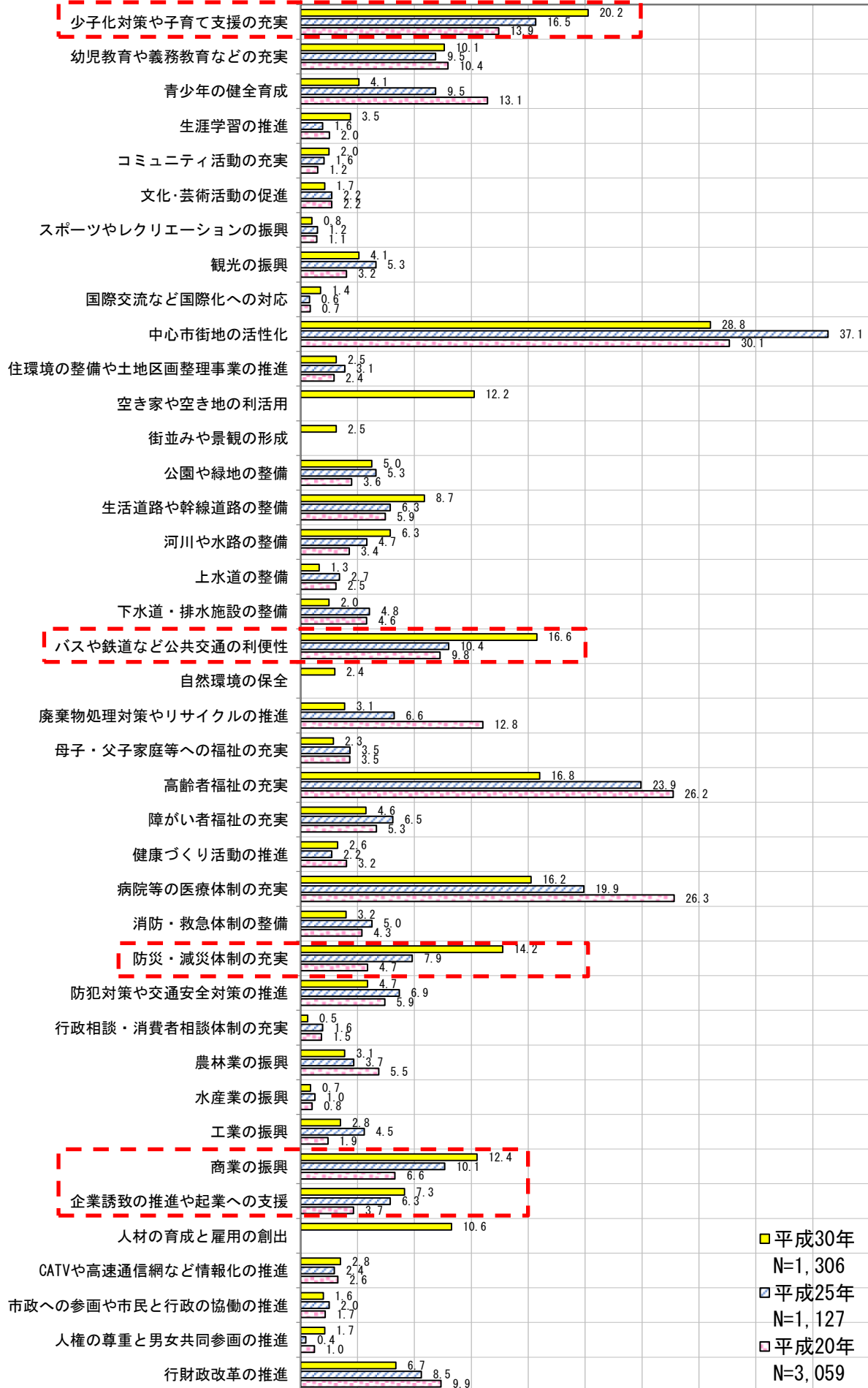
項目	全体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
10 中心市街地の活性化	28.8	1	36.1	1	15.5	5	14.0	7
1 少子化対策や子育て支援の充実	20.2	2	20.6	2	16.3	4	23.5	1
23 高齢者福祉の充実	16.8	3	16.8	3	18.0	3	16.5	4
19 バスや鉄道など公共交通の利便性	16.6	4	15.7	4	20.0	1	16.5	4
26 病院等の医療体制の充実	16.2	5	15.0	5	19.6	2	18.5	2
28 防災・減災体制の充実	14.2	6	14.2	6	15.1	7	13.0	8
34 商業の振興	12.4	8	13.8	7	13.1	9	6.0	14
12 空き家や空き地の利活用	12.2	9	10.1	11	14.7	8	17.0	3
36 人材の育成と雇用の創出	10.6	10	11.6	9	5.3	14	12.5	9
2 幼児教育や義務教育などの充実	10.1	11	11.1	10	7.8	12	8.5	13
15 生活道路や幹線道路の整備	8.7	12	7.6	13	10.2	10	12.0	10
35 企業誘致の推進や起業への支援	7.3	13	8.6	12	4.1	20	6.0	14
40 行財政改革の推進	6.7	14	6.5	14	9.0	11	4.5	18
16 河川や水路の整備	6.3	15	4.7	16	7.8	12	10.5	11
14 公園や緑地の整備	5.0	16	5.8	15	4.5	19	2.5	24
29 防犯対策や交通安全対策の推進	4.7	17	4.6	17	5.3	14	3.5	23
24 障がい者福祉の充実	4.6	18	4.5	18	4.1	20	6.0	14
3 青少年の健全育成	4.1	19	4.1	20	4.9	16	4.0	19
8 観光の振興	4.1	19	4.5	18	3.7	22	4.0	19
4 生涯学習の推進	3.5	21	4.0	21	2.9	25	2.0	29
27 消防・救急体制の整備	3.2	22	2.7	27	2.9	25	6.0	14
21 廃棄物処理対策やリサイクルの推進	3.1	23	3.4	22	1.6	32	4.0	19
31 農林業の振興	3.1	23	1.2	35	4.9	16	9.0	12
33 工業の振興	2.8	25	3.1	24	3.3	23	1.0	34
37 CATVや高速通信網など情報化の推進	2.8	25	2.7	27	3.3	23	2.5	24
25 健康づくり活動の推進	2.6	27	2.7	27	2.9	25	2.5	24
11 住環境の整備や土地区画整理事業の推進	2.5	28	3.0	25	2.4	28	1.0	34
13 街並みや景観の形成	2.5	28	3.4	22	0.8	39	0.5	38
20 自然環境の保全	2.4	30	3.0	25	1.2	36	1.5	32
22 母子・父子家庭等への福祉の充実	2.3	31	2.2	30	2.4	28	2.0	29
5 コミュニティ活動の充実	2.0	32	1.8	32	1.6	32	2.5	24
18 下水道・排水施設の整備	2.0	32	1.1	37	4.9	16	2.0	29
6 文化・芸術活動の促進	1.7	34	1.9	31	1.2	36	1.5	32
39 人権の尊重と男女共同参画の推進	1.7	34	1.3	34	2.0	30	2.5	24
38 市政への参画や市民と行政の協働の推進	1.6	36	1.7	33	1.6	32	1.0	34
9 国際交流など国際化への対応	1.4	37	1.2	35	1.6	32	1.0	34
17 上水道の整備	1.3	38	0.5	40	2.0	30	4.0	19
7 スポーツやレクリエーションの振興	0.8	39	1.0	38	0.8	39	0.5	38
32 水産業の振興	0.7	40	0.8	39	0.4	41	0.5	38
30 行政相談・消費者相談体制の充実	0.5	41	0.5	40	1.2	36	-	41
無回答	13.1	7	11.7	8	15.5	5	15.5	6

※10%超のものに着色しています。

0

20

40 %



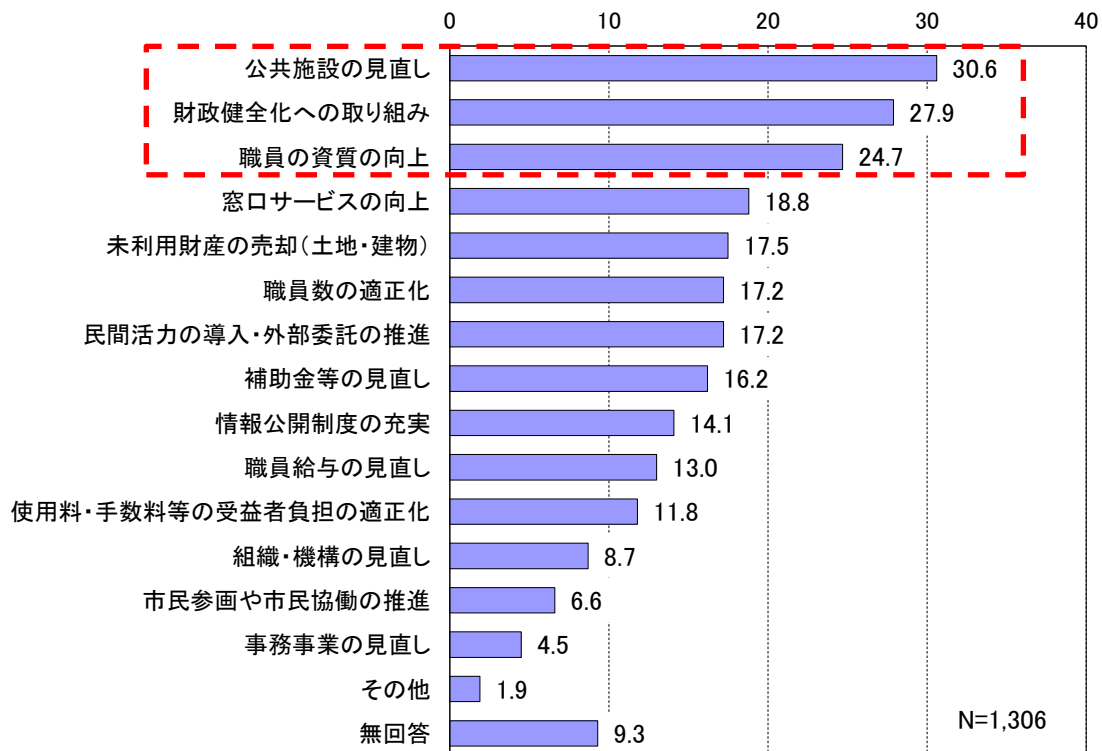
■ 平成30年
 N=1,306
 □ 平成25年
 N=1,127
 □ 平成20年
 N=3,059

4. 市政運営や市民サービスについて

(1) 行財政改革に向けた取組【問15（複数回答可）】

「公共施設の見直し」と回答した人の割合が30.6%で最も高く、次いで「財政健全化への取り組み」が27.9%、「職員の資質の向上」が24.7%、「窓口サービスの向上」が18.8%の順になっています。

年齢別にみますと、「公共施設の見直し」は、いずれの年齢層も高い割合になっていて、「財政健全化への取り組み」と「職員の資質の向上」も、多くの年齢層で高い割合になっています。



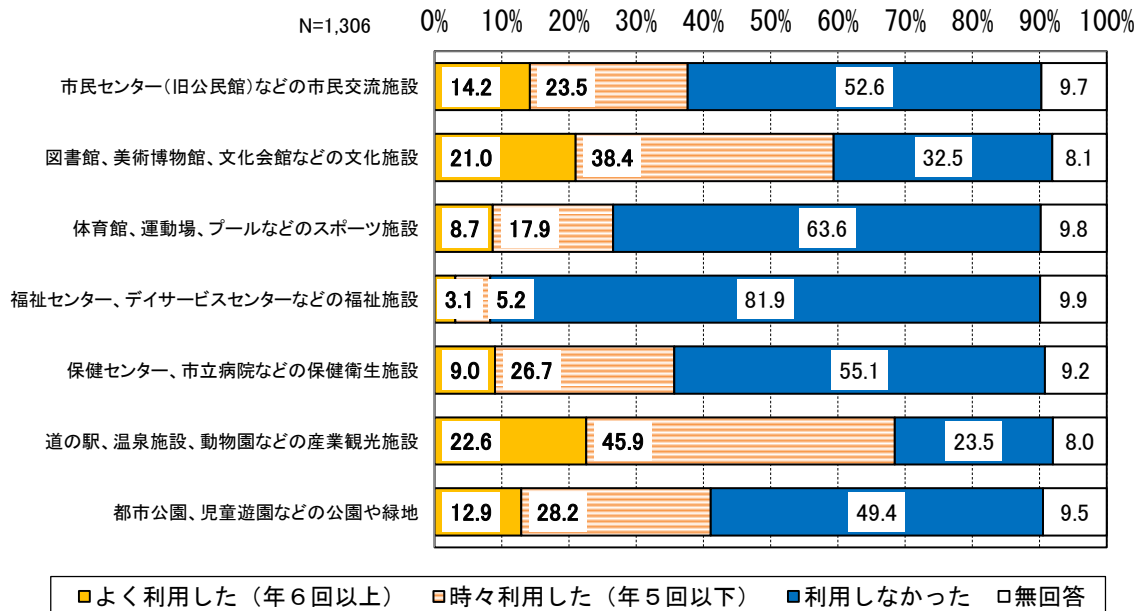
(単位: %)

項目	全体	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
公共施設の見直し	30.6	26.1	42.2	38.6	30.2	30.4	31.4	27.0	28.0
財政健全化への取り組み	27.9	17.4	20.5	18.4	24.1	39.1	19.5	32.6	28.0
職員の資質の向上	24.7	17.4	28.9	20.2	20.1	29.0	36.4	23.8	20.6
窓口サービスの向上	18.8	13.0	10.8	23.7	18.6	19.3	25.4	18.8	16.4
未利用財産の売却(土地・建物)	17.5	26.1	16.9	21.9	19.6	19.3	18.6	14.4	15.0
職員数の適正化	17.2	17.4	8.4	17.5	14.6	19.8	12.7	23.2	14.0
民間活力の導入・外部委託の推進	17.2	8.7	14.5	12.3	18.1	23.2	15.3	16.1	17.8
補助金等の見直し	16.2	21.7	20.5	18.4	20.1	12.6	16.1	12.9	18.2
情報公開制度の充実	14.1	30.4	8.4	9.6	10.6	13.5	14.4	15.5	18.2
職員給与の見直し	13.0	34.8	19.3	10.5	14.6	11.1	10.2	15.2	7.5
使用料・手数料等の受益者負担の適正化	11.8	17.4	16.9	21.1	12.6	7.7	11.0	11.4	8.4
組織・機構の見直し	8.7	8.7	12.0	7.9	10.6	9.2	10.2	7.6	7.0
市民参画や市民協働の推進	6.6	8.7	2.4	4.4	5.5	9.7	5.1	6.7	7.9
事務事業の見直し	4.5	4.3	4.8	5.3	6.5	4.8	4.2	2.6	5.1
その他	1.9	0.0	3.6	1.8	2.5	1.0	3.4	1.5	1.9
無回答	9.3	4.3	7.2	5.3	6.5	4.3	9.3	10.3	18.2

※20%超のものを着色しています。

(2) 公共施設の利用状況【問16】

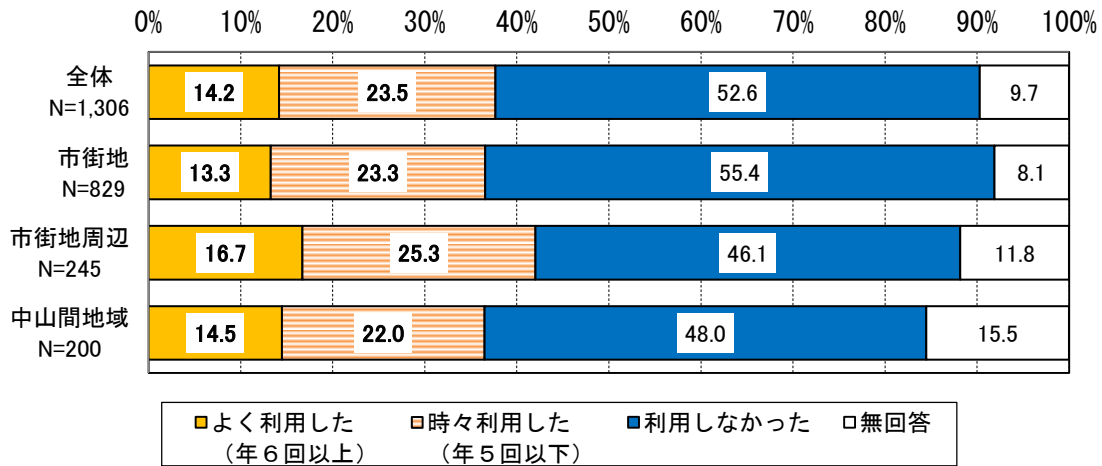
「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合は、産業観光施設が68.5%で最も高く、次いで文化施設が59.4%、公園や緑地が41.1%の順になっています。



①市民センター、コミュニティセンターなどの市民交流施設

「利用しなかった」と回答した人の割合が52.6%で最も高く、「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合の37.7%より多くなっていて、全体的に利用者は少ない状況です。

年齢別にみますと、30歳代以上の利用者が多い状況です。



(単位: %)

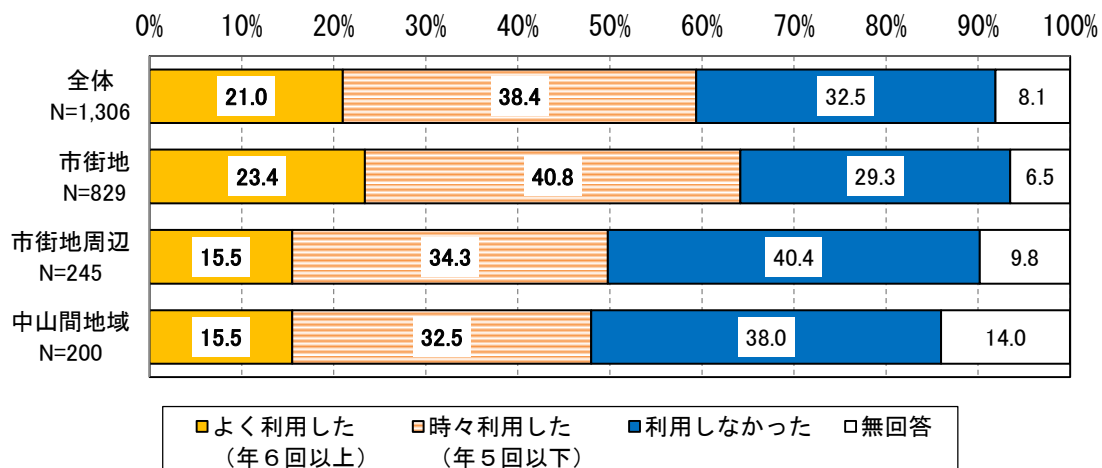
		回答者 (人)	よく利用した (年6回以上)	時々利用した (年5回以下)	利用しなかった	無回答
全体		1,306	14.2	23.5	52.6	9.7
地域別	市街地	829	13.3	23.3	55.4	8.1
	市街地周辺	245	16.7	25.3	46.1	11.8
	中山間地域	200	14.5	22.0	48.0	15.5
	無回答	32	15.6	25.0	59.4	0.0
年齢	18~19歳	23	8.7	21.7	60.9	8.7
	20歳代	83	6.0	15.7	73.5	4.8
	30歳代	114	21.1	26.3	51.8	0.9
	40歳代	199	9.0	31.2	55.8	4.0
	50歳代	207	10.1	26.6	58.5	4.8
	60~64歳	118	11.0	25.4	55.9	7.6
	65~74歳	341	18.2	20.2	49.6	12.0
	75歳以上	214	18.2	19.6	38.3	23.8
無回答	7	14.3	14.3	57.1	14.3	

②図書館、美術博物館、文化会館などの文化施設

「時々利用した」と回答した人の割合が38.4%で最も高く、次いで「利用しなかった」が32.5%、「よく利用した」が21.0%の順になっています。

地域別にみますと、「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合は、市街地が64.2%となっていて、市街地周辺の49.8%、中山間地域の48.0%よりも高くなっています。

年齢別にみますと、いずれの年齢層も利用されていますが、特に30歳代の利用者が多い状況です。



(単位: %)

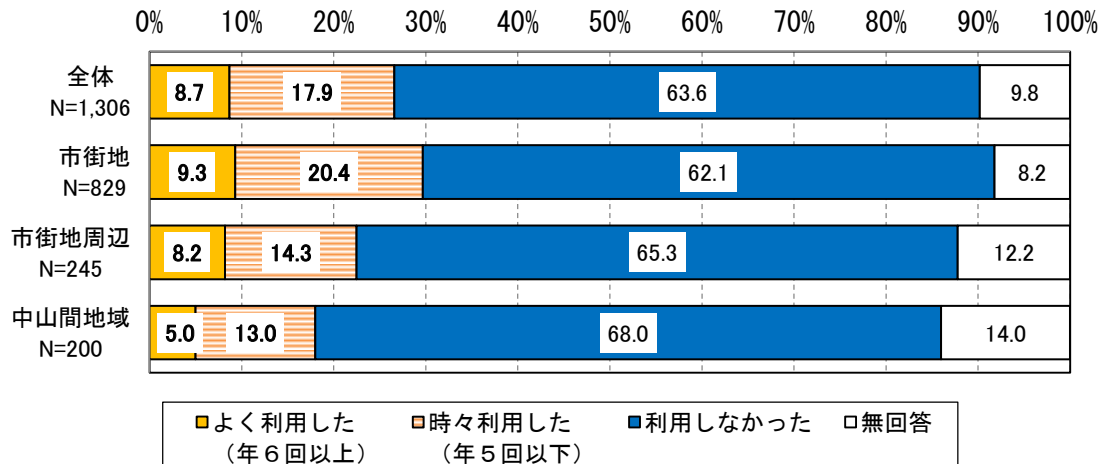
		回答者 (人)	よく利用した (年6回以上)	時々利用した (年5回以下)	利用しなかった	無回答
全体		1,306	21.0	38.4	32.5	8.1
地域別	市街地	829	23.4	40.8	29.3	6.5
	市街地周辺	245	15.5	34.3	40.4	9.8
	中山間地域	200	15.5	32.5	38.0	14.0
	無回答	32	34.4	46.9	18.8	0.0
年齢	18~19歳	23	30.4	43.5	21.7	4.3
	20歳代	83	30.1	32.5	33.7	3.6
	30歳代	114	34.2	43.0	21.9	0.9
	40歳代	199	23.1	43.7	31.2	2.0
	50歳代	207	23.2	41.1	32.9	2.9
	60~64歳	118	16.9	36.4	40.7	5.9
	65~74歳	341	18.2	37.8	32.6	11.4
	75歳以上	214	11.7	32.7	35.0	20.6
無回答	7	28.6	28.6	28.6	14.3	

③体育館、運動場、プールなどのスポーツ施設

「利用しなかった」と回答した人の割合が63.6%で最も高く、次いで「時々利用した」が17.9%、「よく利用した」が8.7%の順になっていて、全体的に利用者は少ない状況です。

地域別にみますと、「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合は、市街地が29.7%となっていて、全体として利用割合は低い中、市街地周辺の22.5%、中山間地域の18.0%よりも比較的高くなっています。

年齢別にみますと、40歳代以下の利用者が比較的多い状況です。

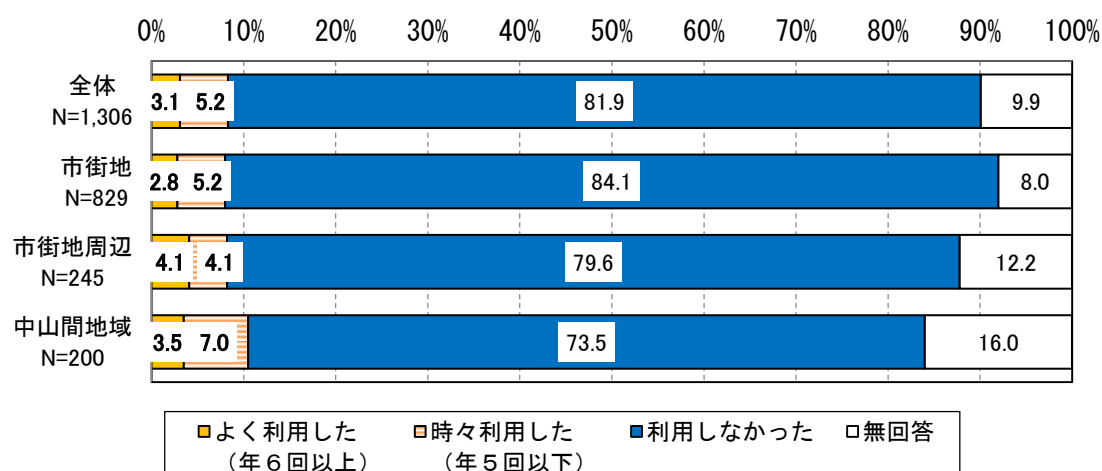


(単位: %)

		回答者 (人)	よく利用した (年6回以上)	時々利用した (年5回以下)	利用しなかった	無回答
全体		1,306	8.7	17.9	63.6	9.8
地域別	市街地	829	9.3	20.4	62.1	8.2
	市街地周辺	245	8.2	14.3	65.3	12.2
	中山間地域	200	5.0	13.0	68.0	14.0
	無回答	32	18.8	12.5	62.5	6.3
年齢	18~19歳	23	8.7	30.4	56.5	4.3
	20歳代	83	16.9	19.3	59.0	4.8
	30歳代	114	12.3	30.7	56.1	0.9
	40歳代	199	18.1	27.1	50.8	4.0
	50歳代	207	7.2	23.7	64.7	4.3
	60~64歳	118	4.2	10.2	78.0	7.6
	65~74歳	341	4.1	11.4	71.0	13.5
	75歳以上	214	5.6	9.8	61.7	22.9
無回答		7	14.3	14.3	57.1	14.3

④福祉センター、デイサービスセンター、老人憩の家などの福祉施設

「利用しなかった」が81.9%で最も高く、「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合の8.3%より多くなっています。

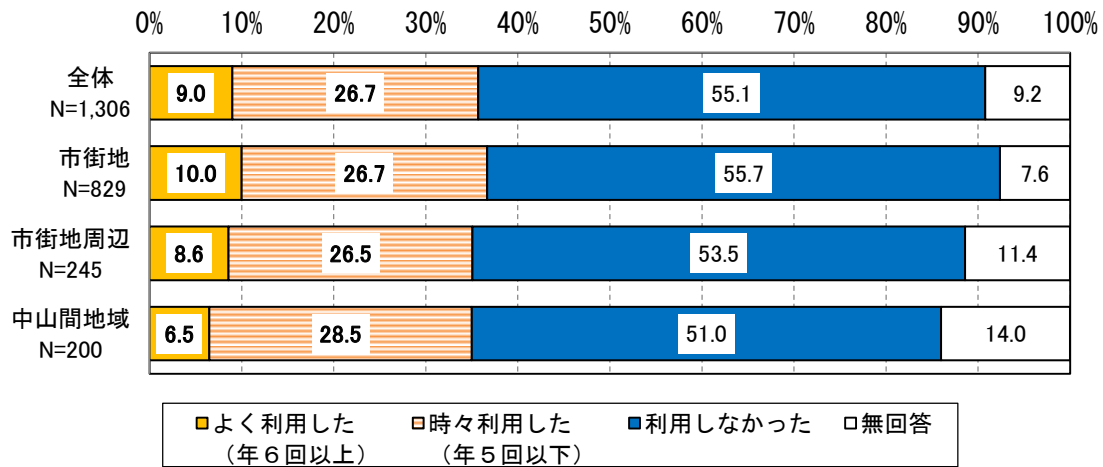


(単位: %)

		回答者 (人)	よく利用した (年6回以上)	時々利用した (年5回以下)	利用しなかった	無回答
全体		1,306	3.1	5.2	81.9	9.9
地域別	市街地	829	2.8	5.2	84.1	8.0
	市街地周辺	245	4.1	4.1	79.6	12.2
	中山間地域	200	3.5	7.0	73.5	16.0
	無回答	32	0.0	3.1	93.8	3.1
年齢	18～19歳	23	0.0	0.0	91.3	8.7
	20歳代	83	0.0	6.0	89.2	4.8
	30歳代	114	2.6	3.5	92.1	1.8
	40歳代	199	1.0	3.5	91.5	4.0
	50歳代	207	2.4	5.8	87.9	3.9
	60～64歳	118	1.7	2.5	85.6	10.2
	65～74歳	341	3.5	7.3	75.4	13.8
	75歳以上	214	7.5	5.6	65.9	21.0
無回答	7	0.0	0.0	85.7	14.3	

⑤保健センター・市立病院・市立診療所などの保健衛生施設

「利用しなかった」が55.1%で最も高く、「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合の35.7%より多くなっています。



(単位: %)

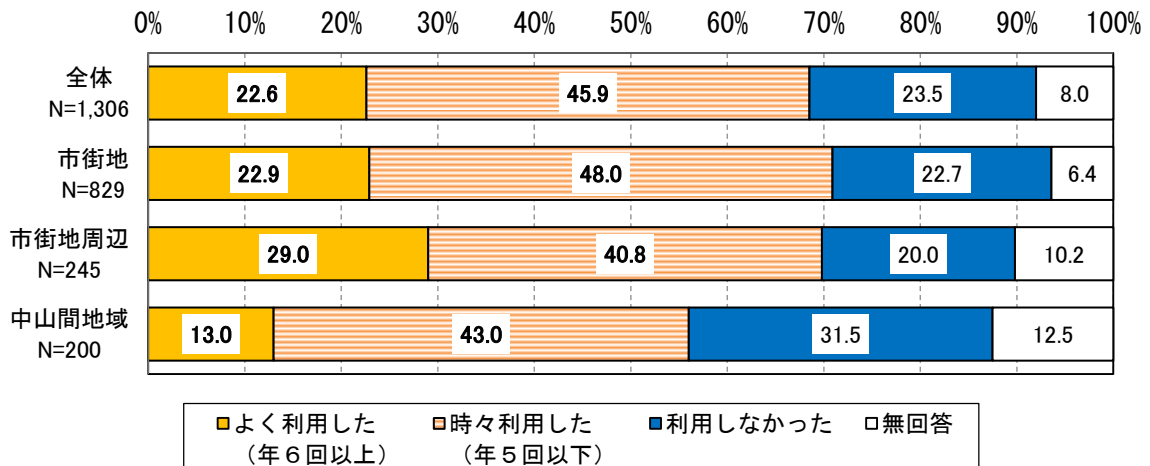
		回答者 (人)	よく利用した (年6回以上)	時々利用した (年5回以下)	利用しなかった	無回答
全体		1,306	9.0	26.7	55.1	9.2
地域別	市街地	829	10.0	26.7	55.7	7.6
	市街地周辺	245	8.6	26.5	53.5	11.4
	中山間地域	200	6.5	28.5	51.0	14.0
	無回答	32	3.1	18.8	75.0	3.1
年齢	18～19歳	23	4.3	26.1	65.2	4.3
	20歳代	83	10.8	27.7	56.6	4.8
	30歳代	114	14.9	36.0	48.2	0.9
	40歳代	199	4.5	27.1	64.3	4.0
	50歳代	207	5.8	27.5	62.3	4.3
	60～64歳	118	5.1	19.5	68.6	6.8
	65～74歳	341	8.8	27.0	50.7	13.5
	75歳以上	214	15.4	24.8	40.2	19.6
無回答	7	14.3	0.0	71.4	14.3	

⑥道の駅、温泉施設、動物園などの産業観光施設

「時々利用した」が45.9%で最も高く、次いで「利用しなかった」が23.5%、「よく利用した」が22.6%の順になっています。

地域別にみますと、「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合は、市街地が70.9%、市街地周辺が69.8%ですが、中山間地域は56.0%となっていて、比較的低くなっています。

年齢別にみますと、いずれの年齢層も高い割合になっていますが、特に20～64歳の利用者が多い状況です。



(単位: %)

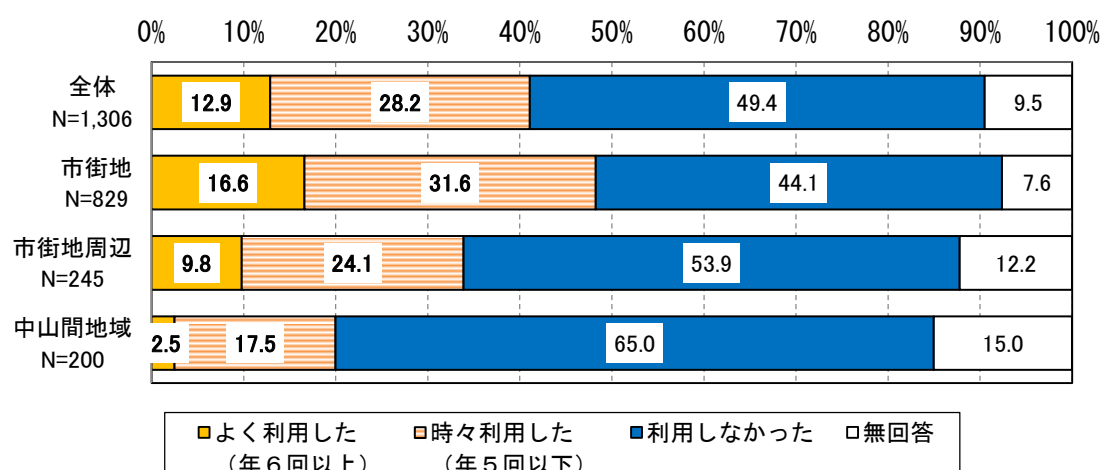
		回答者 (人)	よく利用した (年6回以上)	時々利用した (年5回以下)	利用しなかった	無回答
全体		1,306	22.6	45.9	23.5	8.0
地域別	市街地	829	22.9	48.0	22.7	6.4
	市街地周辺	245	29.0	40.8	20.0	10.2
	中山間地域	200	13.0	43.0	31.5	12.5
	無回答	32	25.0	50.0	21.9	3.1
年齢	18～19歳	23	13.0	43.5	39.1	4.3
	20歳代	83	24.1	49.4	21.7	4.8
	30歳代	114	36.8	43.9	18.4	0.9
	40歳代	199	22.1	53.3	21.1	3.5
	50歳代	207	22.7	50.2	23.7	3.4
	60～64歳	118	24.6	49.2	21.2	5.1
	65～74歳	341	22.0	42.8	24.9	10.3
	75歳以上	214	15.4	37.9	26.6	20.1
無回答	7	28.6	57.1	14.3	0.0	

⑥都市公園・児童遊園などの公園や緑地

「利用しなかった」が49.4%で最も高く、次いで「時々利用した」が28.2%、「よく利用した」が12.9%の順になっています。

地域別にみますと、「よく利用した」又は「時々利用した」と回答した人の割合は、市街地が48.2%となっていて、市街地周辺の33.9%、中山間地域の20.0%よりも高くなっています。

年齢別にみますと、20～50歳代の利用者が比較的多い状況です。



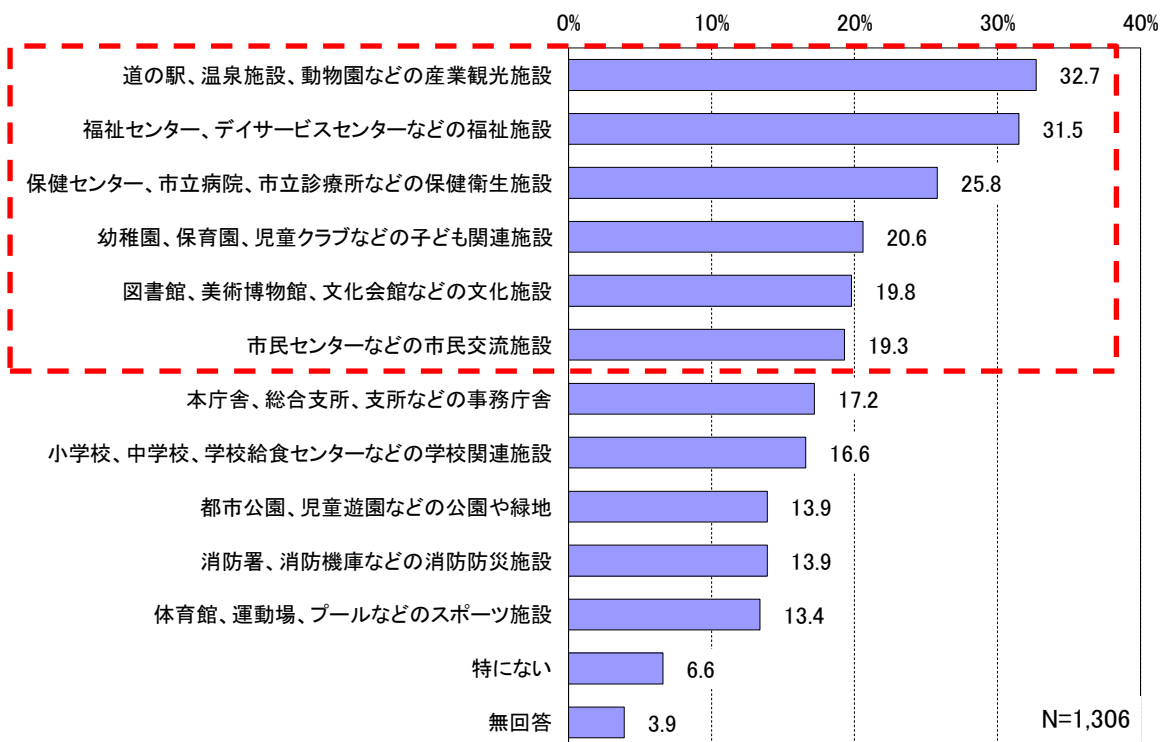
(単位: %)

		回答者 (人)	(年6回以上) よく利用した	(年5回以下) 時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,306	12.9	28.2	49.4	9.5
地域別	市街地	829	16.6	31.6	44.1	7.6
	市街地周辺	245	9.8	24.1	53.9	12.2
	中山間地域	200	2.5	17.5	65.0	15.0
	無回答	32	6.3	37.5	53.1	3.1
年齢	18～19歳	23	0.0	34.8	60.9	4.3
	20歳代	83	14.5	28.9	51.8	4.8
	30歳代	114	36.0	39.5	23.7	0.9
	40歳代	199	22.1	31.7	42.2	4.0
	50歳代	207	13.0	29.0	54.6	3.4
	60～64歳	118	9.3	23.7	60.2	6.8
	65～74歳	341	5.0	29.0	53.1	12.9
	75歳以上	214	7.5	18.7	50.5	23.4
無回答	7	14.3	14.3	57.1	14.3	

(3) 今後のまちづくりにおける有用な公共施設【問17（複数回答有）】

「産業観光施設」と回答した人の割合が32.7%で最も高く、次いで「福祉施設」が31.5%、「保健衛生施設」が25.8%、「子ども関連施設」が20.6%の順になっています。

年齢別にみますと、「産業観光施設」は、ほとんどの年齢層で高い割合になっています。



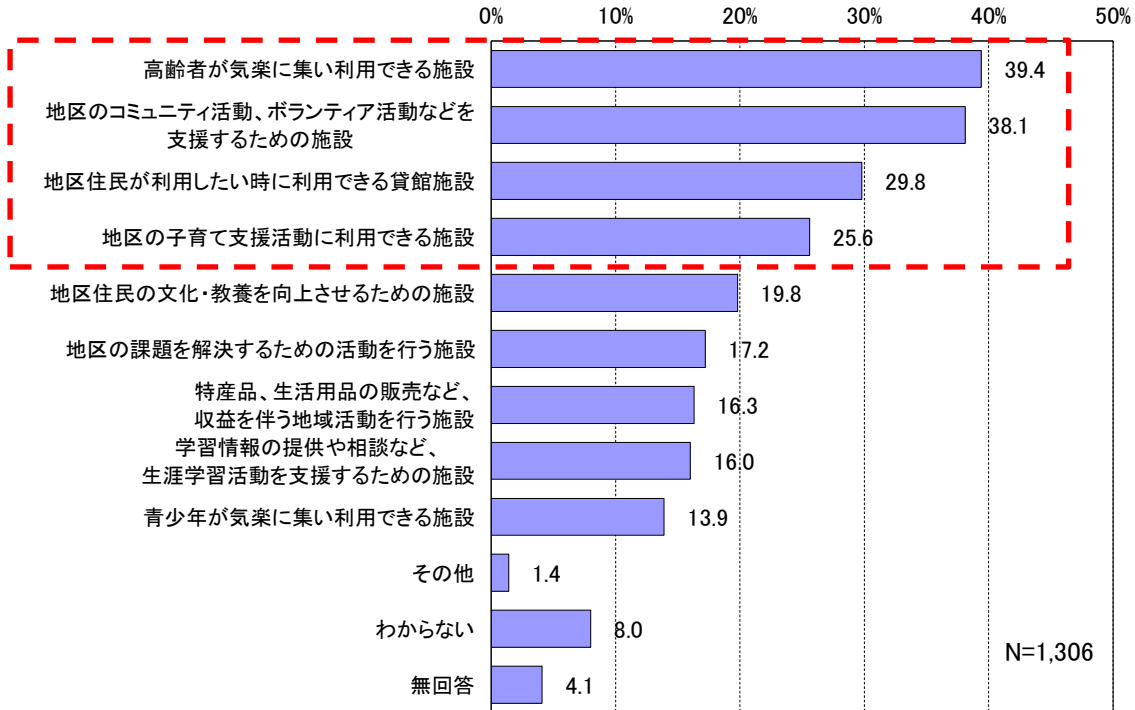
(単位: %)

項目	全体	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
道の駅、温泉施設、動物園などの産業観光施設	32.7	34.8	56.6	40.4	43.2	41.1	28.0	25.5	15.0
福祉センターなどの福祉施設	31.5	13.0	19.3	14.9	23.1	33.3	31.4	37.5	44.9
保健センター、市立病院などの保健衛生施設	25.8	17.4	10.8	11.4	25.6	26.1	26.3	28.4	35.5
幼稚園、保育園などの子ども関連施設	20.6	34.8	31.3	38.6	27.1	16.9	26.3	14.7	8.9
図書館、美術博物館、文化会館などの文化施設	19.8	34.8	27.7	27.2	21.1	27.5	12.7	15.5	12.6
市民センターなどの市民交流施設	19.3	13.0	8.4	14.0	12.1	15.5	25.4	23.2	28.0
本庁舎、総合支所、支所などの事務庁舎	17.2	13.0	10.8	11.4	14.6	15.5	17.8	21.4	20.6
小学校、中学校などの学校関連施設	16.6	26.1	31.3	31.6	23.6	16.9	11.9	10.0	8.4
都市公園、児童遊園などの公園や緑地	13.9	13.0	25.3	28.1	13.6	8.7	16.1	12.9	7.5
消防署、消防機庫などの消防防災施設	13.9	13.0	3.6	10.5	9.5	16.4	16.9	16.4	15.9
体育館、運動場、プールなどのスポーツ施設	13.4	13.0	18.1	17.5	21.6	18.4	12.7	5.9	9.8
特にない	6.6	0.0	3.6	2.6	6.5	6.8	7.6	7.9	7.5
無回答	3.9	4.3	2.4	0.9	2.0	2.4	4.2	5.3	7.0

※20%超のものに着色しています。

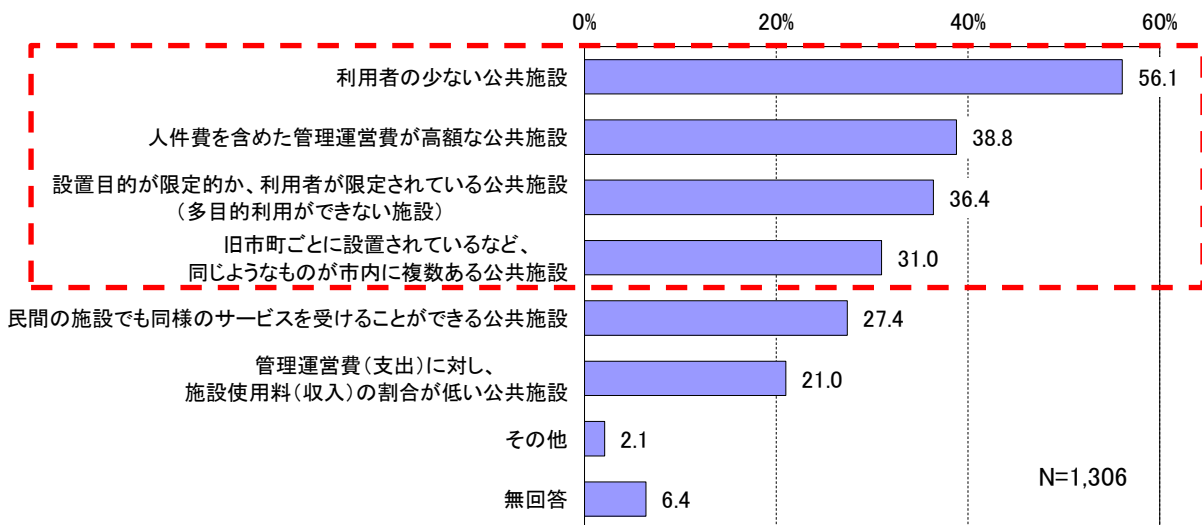
(4) 市民センターに期待する機能【問18 (複数回答可)】

「高齢者が気楽に集い利用できる施設」が39.4%で最も高く、次いで「地区のコミュニティ活動などを支援するための施設」が38.1%、「地区住民が利用したい時に利用できる貸館施設」が29.8%、「地区の子育て支援活動に利用できる施設」が25.6%の順になっています。



(5) 公共施設の見直し【問19 (複数回答可)】

「利用者の少ない公共施設」と回答した人の割合が56.1%で最も高く、次いで「管理運営費が高額な公共施設」が38.8%、「設置目的が限定的か、利用者が限定されている公共施設」が36.4%、「同じようなものが市内に複数ある公共施設」が31.0%の順になっています。

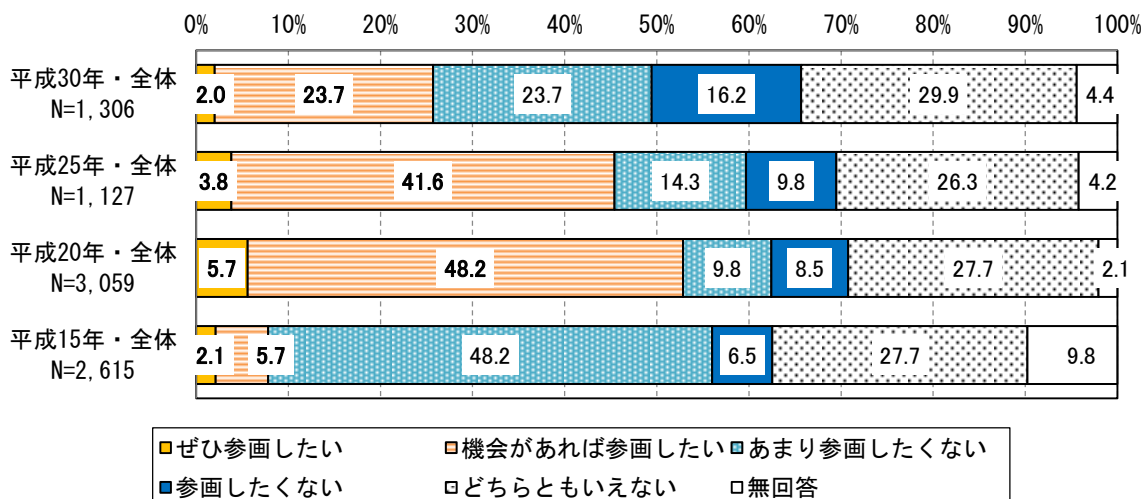
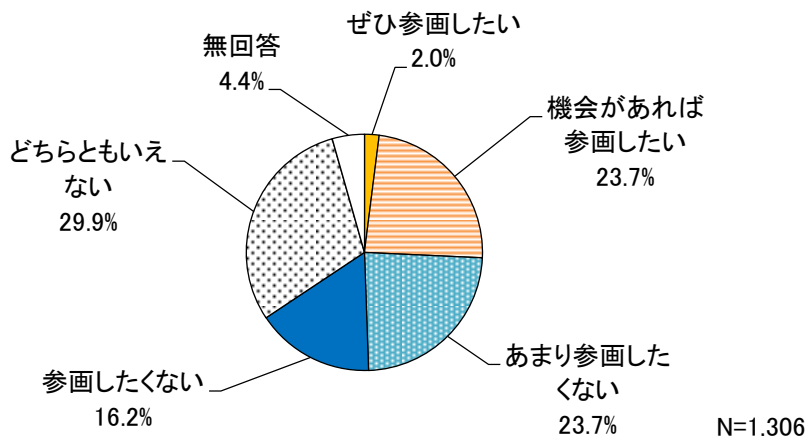


5. 市民参画について

(1) 市民参画への意識【問20】

「ぜひ参画したい」又は「機会があれば参画したい」と回答した人の割合は25.7%、「あまり参画したくない」又は「参画したくない」と回答した人の割合は39.9%で、市政への市民参画に消極的な回答が14.2%上回っています。

前回までの調査と比較しますと、市政への市民参画に積極的な回答の割合が、50%前後から大きく減少してきています。

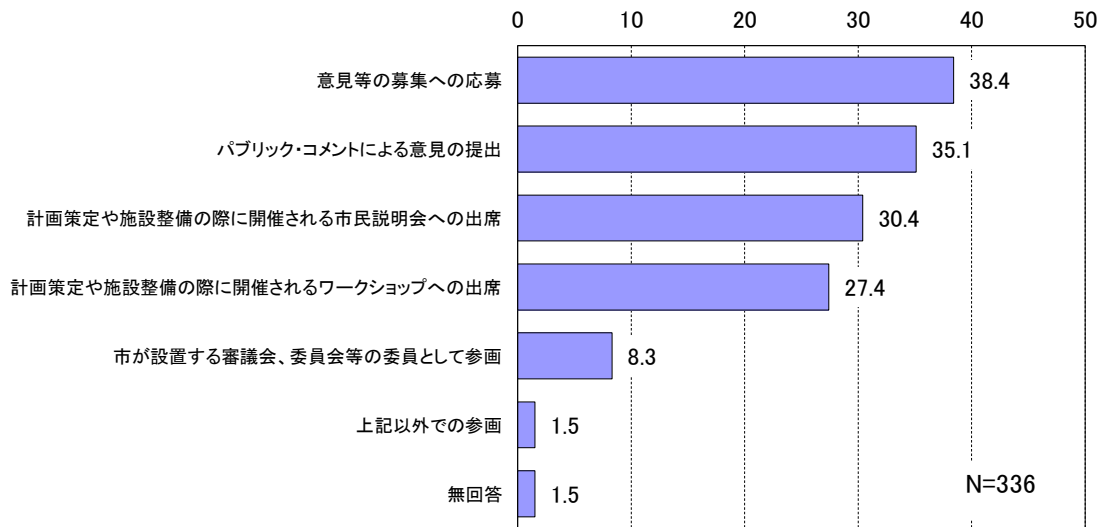


(単位:%)

		回答者(人)	ぜひ参画したい	機会があれば参画したい	あまり参画したくない	参画したくない	どちらともいえない	無回答
全体		1,306	2.0	23.7	23.7	16.2	29.9	4.4
地域別	市街地	829	2.2	24.7	23.9	15.7	29.0	4.6
	市街地周辺	245	2.4	20.0	21.6	19.6	33.1	3.3
	中山間地域	200	0.5	24.0	26.5	13.5	30.5	5.0
	無回答	32	3.1	25.0	15.6	21.9	28.1	6.3
性別	男性	524	2.3	25.2	26.5	15.1	27.9	3.1
	女性	692	1.4	22.5	22.7	18.2	30.3	4.8
	無回答	90	4.4	24.4	14.4	7.8	38.9	10.0
年齢	18～19歳	23	0.0	30.4	17.4	21.7	30.4	0.0
	20歳代	83	2.4	22.9	27.7	24.1	20.5	2.4
	30歳代	114	0.0	23.7	29.8	21.9	22.8	1.8
	40歳代	199	3.0	25.1	25.6	19.6	24.6	2.0
	50歳代	207	3.4	30.4	20.8	18.4	24.2	2.9
	60～64歳	118	0.8	28.8	25.4	9.3	33.1	2.5
	65～74歳	341	1.2	19.4	23.5	12.6	37.8	5.6
	75歳以上	214	2.8	20.1	20.1	14.5	33.2	9.3
無回答	7	0.0	14.3	14.3	0.0	42.9	28.6	
職業(雇用形態)	農林漁業	24	0.0	25.0	29.2	12.5	29.2	4.2
	自営業・自由業	96	3.1	25.0	20.8	12.5	30.2	8.3
	正規の従業員・団体職員・公務員	404	3.2	25.2	26.5	18.8	25.0	1.2
	派遣社員・契約社員・パート・アルバイト	215	0.5	32.1	16.7	16.7	30.2	3.7
	学生	31	0.0	29.0	22.6	19.4	25.8	3.2
	家事専業・無職	482	1.2	17.8	25.3	14.5	34.9	6.2
	その他	43	4.7	25.6	20.9	20.9	20.9	7.0
	無回答	11	9.1	27.3	9.1	0.0	36.4	18.2
世帯構成	一人住まい	141	2.1	19.9	19.9	15.6	34.0	8.5
	夫婦のみ	427	1.4	25.8	23.4	11.5	34.2	3.7
	二世帯同居(子どもと同居)	415	2.4	24.8	23.9	20.2	24.6	4.1
	二世帯同居(親と同居)	198	1.5	21.7	23.7	18.2	30.8	4.0
	三世帯同居	70	2.9	20.0	25.7	22.9	27.1	1.4
	その他	24	4.2	20.8	45.8	8.3	20.8	0.0
	無回答	31	3.2	22.6	19.4	9.7	32.3	12.9
居住年数	1年未満	26	7.7	42.3	19.2	7.7	23.1	0.0
	1～5年未満	60	1.7	26.7	23.3	18.3	28.3	1.7
	5～10年未満	47	2.1	34.0	23.4	14.9	21.3	4.3
	10～20年未満	151	4.0	27.8	19.2	13.9	33.1	2.0
	20～30年未満	188	1.6	29.8	26.6	17.0	23.9	1.1
	30年以上	819	1.6	20.0	23.9	17.0	31.5	6.0
	無回答	15	0.0	33.3	26.7	0.0	33.3	6.7

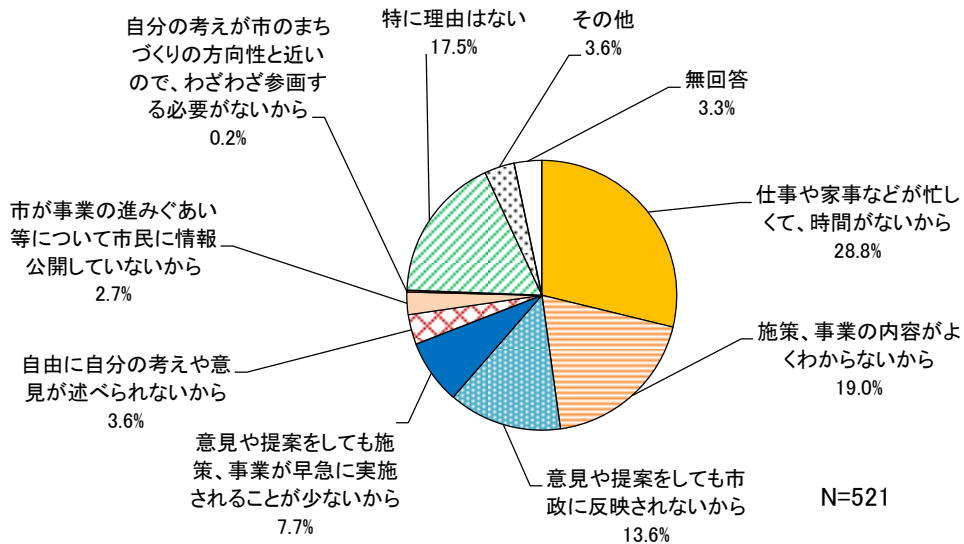
(2) 市民参画の方法【問21（複数回答可）】

問20において市民参画に積極的な回答をした人のうち、「意見等の募集への応募」と回答した人の割合が38.4%で最も高く、次いで「パブリック・コメントによる意見の提出」が35.1%、「市民説明会への出席」が30.4%の順になっています。



(3) 市民参画に消極的な理由【問22】

問20において市民参画に消極的な回答をした人のうち、「忙しくて、時間がないから」と回答した人の割合が28.8%で最も高く、次いで「施策、事業の内容がよくわからないから」が19.0%、「特に理由はない」が17.5%の順になっています。



参考：まちづくりへの意見や要望など（自由記述）

まちづくりへの御意見や御要望などについて、年齢別に列挙します。この内容については、回答者の御意見等の趣旨が伝わる範囲で要約し、個人が特定できる部分等を除いて掲載しています。あくまで自由記述ですので、市民の御意見等を代表した内容とは言えないこと、事実誤認の内容も含まれている可能性があることに御留意ください。

御意見等につきましては、今後、本市がまちづくりを進めるうえでの参考にさせていただきます。

● 18～20歳代からの御意見等

- ・妊娠、出産、育児に対するサポートが手厚く、子育てママが求めている事業も充実している。
- ・子供やその親たちにとって住みやすい環境を整えてほしい。
- ・徳山駅前図書館に、置いていない本を置いてもらえるシステムを作してほしい。
- ・公共交通機関の乗り換えが不便。
- ・公共交通の便を増やしてほしい。
- ・朝夕の電車の本数を増やしてほしい。
- ・公共交通機関をICカードで利用できるようにしてほしい。
- ・徳山駅前のロータリー周辺や御幸通の信号がない場所では、事故が起こらないか不安。
- ・運転マナーの悪い車が多いので怖い。
- ・集中豪雨の際は市民への通知や避難場所の開設など、早急に対応し、今後同じ被害が起きないよう対策を考えてほしい。
- ・市の防災意識が低すぎる。
- ・除草や野良犬、蜂の駆除も早めに対処してほしい。
- ・周南緑地公園は夜とても暗いため利用しづらく、怖いイメージがある。野犬もいるため心配である。
- ・野犬が多いため、去勢手術に税金をかけるなど自然な減少を望む。
- ・公園の数が少なく、野犬の出没等で安心して子供を遊ばせることができないので、一日も早く解決してほしい。
- ・夜暗い所には街灯を設置してほしい。
- ・産業が盛んなので大気汚染が不安なので、もっと自然に溢れたまちにしてほしい。
- ・近鉄松下のような複合施設があれば良いと思う。
- ・徳山駅のリニューアルは良い。
- ・徳山駅前賑わい交流施設は電車やバスの待ち時間に利用でき便利であるが、商店街の活性化には繋がっていない。若者や地域の方が気軽に利用できる施設や定期的なイベント等が開催されると商店街の活性化に繋がる。
- ・徳山駅周辺のクリスマスの電飾は、色の統一やデザインの工夫でもっとお洒落になると思う。
- ・中山間地域居住者は移動手段が車となるため、電車を利用する際に駅の近くに無料の駐車場を設けてほしい。
- ・山間部は中心市街地と比べて衣食住で利便性に大きな差があり、不安を感じる。山間部にも魅力あるまちづくりを期待する。
- ・市街地の道路が分かりづらい。

- ・道路の白線・舗装の補修、歩道・車道の水はけを改善してほしい。
- ・空き家の有効活用。田や山を整地することは合理的ではない。
- ・学生達が楽しく遊べて、気軽に使える施設がほしい。
- ・スーパーばかり増えているのでブランドの服屋などが増えてほしい。
- ・社会・家庭で重要な看護師の働き方改革や潜在看護師の復帰を促す施策を期待する。
- ・求職者一人ひとりに寄り添った相談の場を作ってほしい。
- ・農業や地域おこし協力隊により若い人に移住してもらおうなど、未来のあるまちづくりを期待する。
- ・本市の誇りである歴史と自然を活かした観光で集客ができると思う。
- ・豊かな自然を活かした観光地があればと思う。
- ・外国人がたくさん来るまちにしてほしい。
- ・伝統芸能の活躍の場がもっとあれば嬉しい。
- ・美術館や動物園は、小さいながら市民のニーズを受け工夫して取り組んでおり、重要なスポットとして維持・向上を目指してほしい。
- ・市街地はとても住みやすくなってきていると思うが、今後は周辺部も皆が住みやすく地域が活性化するように、視点を向けて欲しい。
- ・若者の集まるまちづくりをしていく必要がある。
- ・もっと若者世代に力を入れることが、これからのまちづくりを支える人材の育成につながる。
- ・若者向けのお店や街並みなどを推進する必要がある。
- ・子育て世代への支援をしっかり行うことにより自然と若い世帯が移住して活性化すると思う。
- ・光熱費、ゴミ処理費用などが安価であり、無料の歯科検診などのサービスも充実していて助かっている。
- ・税金が高い割にサービスが乏しいので、市民税を有効に使ってほしい。
- ・他市に比べて上下水道代や住民税等が高い。
- ・周ニャン市はあまり好きではない。
- ・周ニャン市はよく意味がわからない。
- ・図書館、市役所、動物園など新しく生まれかわりつつある施設はとても良いと思う。
- ・市役所は建替えではなく、もっと低予算で耐震化をしてほしかった。
- ・行政に道路環境の改善を求めたが、対応してもらえなかった。

● 30歳代からの御意見等

- ・出産時に産後ケア事業を利用し、休息と息抜きができて助かった。4ヶ月以降も子連れで休息できるデイサービスなどがあればとても助かる。
- ・色々な子育て支援サービスが受けられ助かっている。もっと子供の住み良いまちにすることで、多くの人が住むまちになると思う。
- ・子供の医療費について、所得の制限なく負担を減らしてほしい。
- ・子供にかかる負担を減らしてほしい。
- ・乳幼児を連れて遊べる施設やオムツ替え・授乳室などの設備を充実させてほしい。また、子供連れでも気軽に買い物やカフェ、美容室などに行けるよう、託児や一時保育を充実させてほしい。

- ・子供が雨の日でも無料で遊べる施設があれば良い。
- ・自然学習の場を増やしてほしい。
- ・情報機器等の教育環境を充実してほしい。
- ・学校への空調設備の設置が他と比べ大幅に遅れている。
- ・駅前図書館は本の数も多く、借りたい本をネットで予約できて、すぐに借りられるところも他の市にはなくとても良い。これからもより良い図書館サービスを期待する。
- ・市街地と山間部の交通の便を良くしてほしい。
- ・老若男女が自家用車だけに頼らない生活ができるよう、公共交通を充実させてほしい
- ・三田川交差点の自転車用通路の安全対策をしてほしい。
- ・周陽地区の見通しの悪い道路にカーブミラーを設置してほしい。
- ・福祉医療費等は、子供の数が多い家庭を優遇してほしい。
- ・生活保護者の割合が多いので、審査を厳しくしてほしい。
- ・市民一人ひとりの孤独感がなく、弱い人の助けになることができる周南市であってほしい。
- ・野犬への餌やりの指導など、野犬をこれ以上増やさない対策をしてほしい。
- ・野犬による被害者も出ており、対策をしてほしい。
- ・危険空き家に対する積極的な働きかけをしてほしい。
- ・火災、救急情報を市民がすぐに分かるようにしてほしい。
- ・賑やかな商店街の復活。
- ・市内、駅周辺の整理ができていっているが、天候に左右されずに利用できるよう、駅と商店街をつなげ、人の流れを作る事が必要である。高齢者だけでなく、若い人達も行き交う明るく元気のあるまちになってほしい。
- ・徳山駅駐車場の料金が高い。
- ・幹線道路の渋滞、騒音対策をしてほしい。
- ・朝晩の渋滞を改善してほしい。
- ・街灯がもう少し増えたら良い。
- ・空き家をうまくコントロールしてほしい。
- ・永源山公園にあるスケートボードエリアは市外・県外からも利用者があるが、破損して危険なので修復してほしい。
- ・女性が働きやすい環境づくりをしてほしい。
- ・湯野温泉をきれいにするなど、何かにかこだわり、市外の方に来てもらえるような施策を試みる。
- ・美術館で子供向けの企画を増やすなど、幼いうちから美術や科学、歴史に触れる機会を増やしてほしい。
- ・大変住み良いまちであると感じている。
- ・駅前図書館や市役所、動物園が新しくなり、市の魅力が益々向上した。
- ・ふるさと納税にもっと力を入れてほしい。
- ・市の事業は手段と目的を整理し、しっかりと効果の検証をしてほしい。
- ・計画的に投資してほしい。
- ・周ニャン市プロジェクトの成果が感じられない。

- ・周ニャン市プロジェクトについては、駄洒落と猫のイラストという見せ方は悪いとは思わないが、具体的な目標等が見えない。
- ・駐車場が少ない公共施設が多く不便。人の動きをきちんと把握しないと施設同士で利用者の取り合いになっていないか。
- ・使っていない公共施設はきちんと処分してほしい。
- ・市役所内の連携を強化してほしい。
- ・マイナンバー等を活用し、市民の手続きを減らしてほしい。

● 40歳代からの御意見等

- ・保育料の負担を見直してほしい。
- ・子供の医療費助成などは、収入で決めるのではなく、子どもの多い家庭へもっとメリットがあってもいいと思う。
- ・ママたちとお茶しながら子供が遊べる場所があれば嬉しい。
- ・室内で子どもを安心して遊ばせる施設がもっとあれば良い。
- ・児玉源太郎生誕の地公園は本当に必要か。遊べないし何のためにあるのかわからない。
- ・子供たちの教育環境を整えるため、各学校へエアコンの早期設置を希望。
- ・小中学校のエアコンを早く付けてあげてほしい。
- ・田舎は学校のグラウンドこそ子供の遊び場だと思うので、安全な遊具を市の予算で設置してほしい。
- ・長期休暇も児童クラブの開始時間を早くしてもらえると、正社員として働きやすい。
- ・大学や専門学校を充実させてほしい。
- ・これから子供を育てる世代のUJIターンを増やすためには、教育環境を整える必要がある。
- ・図書館の在庫を増やしてほしい。
- ・図書館の本に偏った嗜好のものが多く、本が少ない館もあるため、アンケートを取って見直してほしい。
- ・移動図書館があると良い。
- ・公共交通機関が少なく、買い物等に不便。
- ・バスの本数が少なく、駅から離れた所のバス賃が高すぎる。車が無ければ高齢者は出かけられないので、解消してほしい。
- ・徳山駅を境にバスが左右で分れており不便。また、時刻表が分かりにくい。
- ・三田川交差点の自転車道は巻き込み事故が多く、危険。
- ・登下校の時間帯に車の通行量が多く危ないところがある。減らすための措置を取ってほしい。
- ・市民の防災意識が低いので、市からの啓発活動が必要ではないか。
- ・山の近くに住んでいるので、土砂災害対策が進むのを期待する。
- ・住宅が増えているが、災害時に十分に受け入れるだけの避難所があるのか不安。
- ・早急に野犬対策に取り組んでほしい。
- ・通学路に野犬がよく出るので、毎日保護者が見守りをしている。
- ・犬、猫の殺処分を無くしてほしい。
- ・ごみ収集は分別して出す事は手間だが、祭日でも来るので助かっている。
- ・徳山駅方面へ出ると、食べる所が少なく遊ぶ所もないので子供たちはおもしろくない。

- ・駅前図書館は市外の方に自慢できる施設である。
- ・中心市街地でのイベントがさらに充実し、にぎわう商店街になっていくことを期待する。
- ・商業施設などが郊外化しているのは理解できるが、やはり駅前に商業施設がないと寂しいので、駅前に大型商業施設を誘致するなど、商業の底上げをしてほしい。
- ・徳山駅ビルの図書館は良いが、駐車場が狭いのが不便。
- ・シャッターばかりの商店街、一度全てを潰す覚悟で思い切った改革をしてほしい。
- ・生活には車が欠かせないが、通勤や買い物等でいつも渋滞している。狭い道幅や分かりにくい標示も改善してほしい。
- ・日常で渋滞が多すぎるため、公共交通機関も利用しにくい。
- ・川で子供達が遊んでいることがあるが、河川と道の区別がされていない場所が多く、危険なので整備を検討してほしい。
- ・人口以上にマンションが建ち過ぎており、値を下げ老朽したマンションのスラム化が進んでいる。
- ・大きくて使いやすい公園を作してほしい。
- ・子どもがボールで遊べる公園が少ない。
- ・歩道の木がブロックを押し上げ、デコボコして危ない。街路樹が邪魔をして信号などが見えにくい。
- ・街路樹の四季折々の変化を楽しんでおり、管理にコストをかけられないのは理解できるが、伐採で無残な姿になっているのが残念。
- ・商業施設の活性化を期待する。
- ・魅力的なお店や遊ぶ場所がない。
- ・新南陽地区に飲食店が少ない。
- ・女性が働きやすい環境を作してほしい。
- ・水素関係の施策について、市内のバス等を水素燃料電池仕様のものにするなど、周南としての強みをもっと強化すべき。
- ・山や田畑を災害から守るためにも、一次産業の担い手対策が重要。
- ・農業法人、森林組合に対しての賃金補助や市外からの就業を希望する方には住居等の提供支援が必要である。
- ・肉や魚、野菜などが全て地産地消できるのが、素晴らしいと思う。
- ・動物園、美術館、文化会館があることは周南市の良い所だと思う。
- ・自分の住んでいるまちの歴史や文化が一目で分かり、学べる施設が必要。
- ・地域の誇りである児玉源太郎の功績を知ることのできる施設を作してほしい。
- ・山間部に子どもたちが遊べて大人も楽しめる自然を活かしたテーマパークがあれば良い。
- ・若者が集まりそうな店やイベントをやしてほしい。また、萌えサミットなどのサブカルチャーに力を入れるのも良い。
- ・八代地区は冬になると鶴の渡来があり、多少の観光客が来るので、観光地として推していくのであれば、それ以外にも楽しんでもらえるような施設など、次世代の子供が住みたいと思うような場所にしてほしい。
- ・若者が定着する魅力、学校、企業が無い。

- ・市として教育環境や働きたいと思える環境づくりをサポートし、若者が地元の魅力を持てるまちづくりを進めてほしい。また、市民参画により、お互いが助け合いながら進められる工夫が必要。
- ・若者がいないまちは衰退する。
- ・災害対策や高齢者の交通対策など、中心地から離れた場所にも目を行き届かせ、高齢者に優しい街であってほしい。若者が地元に戻って働いてくれることも必要。
- ・合併してもいつまでたっても旧市町で分けて考える所が抜けていない。
- ・花火大会や市役所前の道路に植えている花など、市民が楽しみにしている経費は削減しないでほしい。
- ・若い世代が増える為にお金を使うべき。
- ・多様な団体が、市全体のテーマについて話し合う機会を増やすべき。
- ・市民からの意見や要望に対し、改善点を広報などで示してほしい。
- ・全体的に住みやすい市なので、あとは産業力など市の特徴を前面に出したプロモーションをしてほしい。
- ・積極的な公共施設の見直しに賛成。
- ・公共施設は車が運転できない高齢者のことも考えて場所を決めてほしい。
- ・小さい体育館が多すぎるので、大小ある施設をひとつ作れば良い。
- ・市役所の人達の対応は素晴らしい。
- ・市政に求められている一つひとつの声を取り上げて考えてほしい。
- ・支所の窓口に行きに行ったが、慣れていないので本庁に行った方がいいと言われ、手続きに余計な日数がかかった。
- ・地域にある公共施設の職員の態度が悪いので、気分が悪くなる。

● 50歳代からの御意見等

- ・子供や家庭の悩みを言いやすい施設があれば良い。
- ・幼稚園と保育園を無償化してほしい。
- ・子供の通う学校施設を安全なものにするのが急務であり、何よりも優先されるべき。
- ・地域の中学校が将来無くなってしまうのか、どこに通うようになるのか不安である。
- ・徳山大学の公立化。
- ・地域行事に関心がなく、自治会に加入していない家庭も多いので、市民の意識改革が必要。
- ・バス料金の割引や無料化など、高齢者が買い物しやすい環境を作してほしい。
- ・高齢者と障がい者が利用できる、憩いの施設がほしい。
- ・高齢者の介護や独居老人の支援をしてほしい。
- ・高齢者が住みやすいまちづくりをしてほしい。
- ・今後も、防災や危機管理に重点を置いてほしい。
- ・自然災害が発生した際の、高齢者等の避難に対する適正な案内や方法が明確になっていない。また、災害発生時にはインフラの復旧作業について優先順位を明確にしてほしい。
- ・自然災害により仮設住宅を作らなければならない事態を想定し、予算確保や仮設住宅を建てる場所などのシュミレーションが必要。
- ・安心して子供を遊ばせることができるよう、早急に周南緑地公園の野犬対策をしてほしい。

- ・運動公園や緑地公園の野犬は動物愛護とは別問題なので、早急に捕獲してほしい。
- ・犬や猫の殺処分をなくしてほしい。
- ・ゴミ分別の種類が多すぎるので、もっとシンプルにしてほしい。
- ・ゴミの分別が高齢者には大変なので、もう少し簡単な分類に分けてほしい。
- ・中心市街地の整備はもっと他県や他市を参考にし、若者が定住、足を運ぶ魅力あるまちづくりをしてほしい。
- ・駅周辺に商店街のある事の強みを活かして、デパートの誘致は難しいが、個人経営の専門店の多く集まる商店街にしてほしい。
- ・駅前の図書館ができて若い人が駅前辺りに多く見られるようになり活気が出てきて嬉しい。
- ・市役所も建て代わり、きれいになったので図書館から市役所にかけてのラインがもう少し活気づくると街の流れも変わってくるのでは。
- ・新幹線を利用する際、徳山駅周辺の駐車場が少なく、料金が高い。
- ・水産物市場を活用した新鮮な魚の提供や親水公園・工場夜景を活用した観光など、徳山駅新幹線口の開発を進めてほしい。
- ・朝、夕の通勤時の渋滞を緩和してほしい。
- ・無駄に道路を拡張するのではなく、修正や補修で済むものはそうすべき。
- ・市営住宅の空室が多いので、入居資格や家賃の見直しや、入居者負担で自由に部屋のリフォーム・リノベーションを可能にするなど、若い世代の入居者を増やすべき。
- ・市営住宅の周りに違法駐車をしている車が多く、緊急車両も通る事が難しい状態なので、駐車場を整備してほしい。
- ・市は公園を作るだけでなく、後々の維持管理まで考えてほしい。
- ・友達と気軽に行ける飲食店等を誘致してほしい。
- ・商業を活性化してほしい。
- ・櫛ヶ浜駅からキリンビバレッジや陸上競技場、野球場などへ行く学生が多く、その間の道路整備や競技場周辺に商業施設があると大会に来た人も助かると思う。
- ・商業施設の撤退が相次いでいる徳山西部地区の活性化をしてほしい。
- ・周南市は自然に溢れ、道も広いし良い所なので、仕事があれば子供たちもUターンしてくれると思う。
- ・映画館を誘致してほしい。
- ・若者の移住を促進するために、起業の支援を行うべき。
- ・行政としては観光の振興ではなく、観光産業の振興、育成が大切ではないか。
- ・他市町から人が訪れるまちにしてほしい。
- ・周りが高齢化し生活弱者が増えていくが、田舎だからと切り捨てることなく、子供達や高齢者、若者、働き手世代の皆が住みやすい環境を作してほしい。
- ・山間部に残る空き家や田畑の有効活用による活性化など、人の交流で作る温かいまちづくりをしてほしい。
- ・バスの停留所付近に行政や買い物、病院等を集約し、高齢者に優しいまちづくりをしてほしい。
- ・自然にも恵まれているので、家族が遊びに行けるようなアスレチック施設のある公園など、若い人が住みたいと思うようなまちづくりをしてほしい。

- ・自然豊かな居住地を活かすこと、コンパクトプラスネットワークの考えが重要で、身の丈に合った目標で周南市を盛り立てるのが一番である。
- ・上下水道代が高すぎるので、もっと安くしてほしい。
- ・まずは財政の見直し、健全化を図るべき。未来の周南市像を誰でも分かるように掲げ、理解され、皆で作っていったらもっとこのまちが好きになるし、多少の犠牲を犠牲と考えないで良いと思う。
- ・公共用地を売却し、固定資産税の収入を上げてほしい。
- ・ホームページが近隣他市に比べ、とても素晴らしい。
- ・周ニャン市にかかる経費はもっと別のところに使うべき。
- ・周ニャン市プロジェクトは、住みやすく、居心地の良いまちづくりをしようという考えだと思うが、なぜ猫なのか疑問。住み良いまちであれば、子育て支援をどこよりも充実させ、「子育てするなら周南市」と言われるようになれば、人口問題や少子化対策にも繋がるのではないかな。
- ・近隣の体育施設の使用できる回数が極端に減ったので、せめて月に1回程度は地元の住民を優先してほしい。
- ・公共施設は建てた後の維持費等も考えて慎重に作るべき。
- ・市民館の代わりに、市民が手軽に利用できるホールを作ってほしい。
- ・市民センターはもっと開かれ、自治会の集会や避難場所に使われるだけの施設という認識を取り払う努力をしてほしい。
- ・市職員の対応が良くない。
- ・市職員の中の接遇の悪い人は、十分気をつけてほしい。

● 60歳以上からの御意見等

- ・若者の結婚について、市としても何か施策を考える時ではないか。
- ・税金を子育て支援などに有効利用してほしい。
- ・子育て世代の人達が楽しめるまちであってほしい。
- ・子育て支援と高齢者利用ができる多目的な施設があると良い。
- ・教育環境の整備のため、幼稚園、小中学校に早急にクーラーを設置してほしい。
- ・義務教育終了までの子供達が気兼ねなく利用できる、子ども食堂のようなサービスを始めてほしい。
- ・高校の普通科を減らし、公立の看護科を作るなど、ニーズと供給が合う教育体系を希望する。
- ・地域活動を行う上で、自治会とコミュニティ組織との関連性がよく分からない。一本化されたスマートな組織に集約されないだろうか。
- ・昔のような近所とのつながりが薄れてきている中で、出来る人が出来る事をして、お互い助け合える仕組みができたらと思う。
- ・高齢になった今だからできる事も多いと思うので、近くの市民センター等に多くの人が集える環境づくりをしてほしい。
- ・コミュニティ活動の補助金を増やしてほしい。
- ・バス停に椅子がほしい。
- ・車が使えなくなった時の買い物や病院などに不安がある。

- ・高齢者のバス料金の割引制度をつくってほしい。
- ・運転免許証を返納した際は、通院・買物などの交通手段や行政のサービスを充実してほしい。
- ・高齢者が増加するので、健康増進や医療費削減につながる取り組みが必要。
- ・子宮がん検診を、近隣の市町でも受診可能にしてほしい。
- ・車イスの人にバリアフリーな都市を目指してほしい。
- ・夜間、休日診療所の場所を変更して、もう少し行きやすい所にしてほしい。
- ・病院の整備と福祉施設の充実。
- ・7月の豪雨災害の時には周南市中心部と熊毛との温度差を感じた。
- ・自然災害が多発する中で、市民の生命・財産を守る対策をお願いする。
- ・災害で道路が交通止めになった時は、迂回路を分かりやすく記載してほしい。
- ・連絡網などの災害時の対応を見直してほしい。また、防災サイレンが聞こえづらく、よく分からない。
- ・安全に暮らすことができるよう、野犬対策をお願いしたい。
- ・野犬の怖さはもちろんだが、公園の芝生や墓に糞が多いので早急に対策してほしい。
- ・野良犬や野良猫が殺処分とならないことを切に願っている。
- ・横断歩道が消えかかっているところがあるので、まずは子供達や市民の命を守る事にお金をかけてほしい。
- ・地域のどこにいても安心して暮らせる犯罪のないまちづくりをしてほしい。
- ・生活の不便さや防災の安全向上のため、車が入らない道路の早期の整備を望む。
- ・ごみの分別が高齢者には分かりにくい。
- ・まちづくりの重点課題として、各自治会や企業等の協力のもと、住民の総力を上げてまちの美化運動に取り組んでほしい。
- ・駅前商店街が活性化してほしい。
- ・他市の事例を参考にし、徳山・新南陽駅前の商店街を活性化させてほしい。
- ・徳山駅周辺の駐車場を無料にしてほしい。
- ・周南市は海と共に発展してきたまちなので、今後も新幹線口の再開発や海岸沿いの整備など、海に視点をあてた方が良いと思う。
- ・新南陽駅前の歩道やイズミ周辺の街並みが汚い。
- ・中山間地域の人口減少・少子高齢化の抑制のために、起業の支援や就業の場づくりに最優先で取り組んでほしい。
- ・利用頻度の多い農道は、住民の負担なく行政で修繕してほしい。
- ・車いすの者や高齢者が安心して利用できるよう、段差の少ない歩道を整備してほしい。
- ・交通量が多くて危険なので、一日も早く中溝線を広げてほしい。
- ・道路・歩道の除草や道路上の木の枝を伐採してほしい。
- ・道路の白線が薄くなって見づらい所は補修してほしい。
- ・都市計画税を公平に使い、周辺部の生活道路も整備してほしい。
- ・道路整備事業等の長期に渡る事業については、地域住民に定期的な進捗状況の報告等をしてほしい。
- ・まちなかの空き地対策をしてほしい。
- ・団地等で増えている空き地を公園や健康のための施設にしてほしい。

- ・空き家が多いので、少しでも解消してほしい。
- ・長期不在の住宅や山林、農地への市の積極的な関与が必要。
- ・公園等あるが、さびれてきている所が多く、もったいない。
- ・有料でも良いので、犬と散歩できるような公園や施設がほしい。
- ・公園や小中学校の樹木を定期的に剪定してほしい。
- ・子供達のために、整備されたきれいな夢のある公園にしてほしい。
- ・企業が元気でないともちも活性化しないので、産業への支援や産業道路の整備・アクセス改善を求める。
- ・商業が衰退したことにより、人口が少なくなっている。
- ・気軽に買い物できる楽しい店や、見て歩くだけでも楽しくなる店がない。
- ・積極的な企業誘致。
- ・東善寺やすらぎの里の入浴料が高い。
- ・市営プールが古いので新しくみんなが利用できるプールがほしい。
- ・夜市川沿いにサイクリングコースを作してほしい。
- ・永源山公園内の美術館は無駄が多いのでは。
- ・八代の観光資源である烏帽子岳ウッドパークは眺望の良い所なので大切にしてほしい。
- ・周南市に住んでいて良かったといつも思う。
- ・周辺地域にも配慮してほしい。
- ・除草、ゴミ放置、歩道、舗装等、周辺部の整備が非常に遅れている。
- ・中心部だけにお金を使うのではなく、もっと他地域の振興にもお金を使ってほしい。
- ・福川地区に活力がない。
- ・周南市民共通のブランドは「人」であり「絆」である。
- ・まちづくりには、市と住民との情報交換と意識の一致が必要である。
- ・体育館の利用料金の算定方法が変わり、負担が大きいので見直してほしい。
- ・歳出の多くを占める人件費や管理費を抑制するなど、行財政改革に力を注ぐべき。
- ・市の財政を考えて市長の給与の見直しをしてほしい。
- ・助成金や補助金が重ならないよう、事業等の見直しが必要。
- ・税金を使って周ニャン市を広めるような活動はやめてほしい。
- ・周ニャン市は市民レベルでもっと盛り上がるような仕掛けがあっても良いと思う。
- ・ネコをテーマとした企画を動物園、美術館、図書館等連携して推し進めてほしい。
- ・市政への市民参画が一部の人に限られている気がするので、気楽に意見が言える場・機会を多く作ってほしい。
- ・毎月2回発行している広報誌は、予算節減の面からも1回で充分だと思う。
- ・広報は必要な人のみ配布し、他の人は回覧が良いのではないか。
- ・安全な公共施設は未来を担う子供たちにとって大切な場だと思う。
- ・市内全域の施設の重複を早急に整理してほしい。
- ・地域の市民センターが古いので、新設してほしい。
- ・全ての市民センターの使い方を統一するのではなく、それぞれの地域の実情や要望に応じたものにしてほしい。
- ・市役所内での横の連携がない。

- ・人口の割には市の職員数が多いのではないか。
- ・一生住みたいと思えるまちになるためには、こつこつと一般市民の声を拾い上げられる市政であってほしい。
- ・市議会議員や市議会の活発化を希望。
- ・市議会議員一人ひとりの活動があまりにも怠慢なので、人数や報酬を見直すべきである。

周南市 市民アンケート調査

～ 重要なアンケート調査へのご協力をお願いします ～

平素より周南市政についてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成27（2015）年度から、第2次まちづくり総合計画「しゅうなん共創共生プラン」に基づき市政運営を行っております。まちづくり総合計画は、都市の将来像やその実現に向けたまちづくりの方向性を定めた長期的な計画であり、市の最上位計画として位置付けられるものです。前期基本計画4年目となる今年度は、2020年度から始まる後期基本計画の策定に向けて準備を進めており、その一環として市民アンケート調査を実施します。

この調査は、市民の皆様のニーズや満足度、市政に対するお考えなどを伺い、計画策定の基礎資料とすることを目的としており、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に3,000人を選ばせていただき、送付しています。

お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいませう、よろしくをお願いします。

また、調査票の後半に個別施策に関するアンケート調査もありますので、併せてご協力をお願いします。

平成30年9月 周南市

調査期間 平成30年10月12日（金）まで

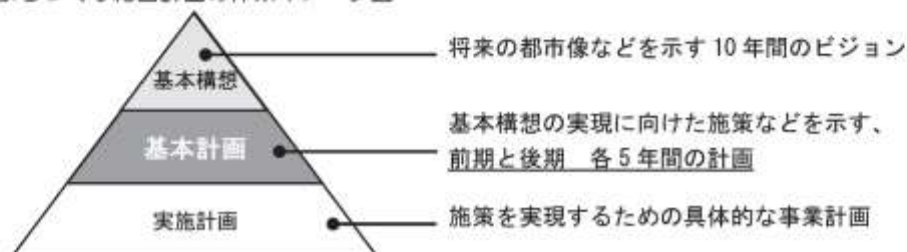
調査対象 平成30年8月1日現在、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、地区、性別等を考慮して無作為に抽出した3,000人

- 調査は無記名で行い、回答はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、まちづくりの目的以外に使用することはありません。
- 周南市まちづくり総合計画は、市役所本庁舎4階企画課、各総合支所情報公開コーナーで閲覧できます。また、市ホームページ（トップページ→市政情報→市の計画・取組み→総合計画）に掲載しています。

まちづくり総合計画とは？

まちづくり総合計画は、周南市のまちづくりの指針となるものです。

○まちづくり総合計画の体系イメージ図



※この調査は、2020年度から始まる「後期基本計画」を策定するための基礎資料になります。

●ご記入にあたっての注意事項

- ・封筒のあて名のご本人がお答えください。なお、事情によりご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人から聞きとって代わりに記入してください。
- ・この調査票と返信用封筒にお名前やご住所を書く必要はありません。
- ・ご記入にあたっては、鉛筆、ボールペンまたは万年筆をご使用ください。
- ・設問ごとに、「1つだけに○印」、「あてはまるものすべてに○印」など回答方法を指定しておりますので、指定に従って、あてはまるものの番号に○をつけてください。「その他」を選択した場合は、カッコ内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、平成30年10月12日（金）までに投かんしてください。（※切手は不要です。）

ここからのアンケート内容に関するお問い合わせ先
 周南市 政策推進部 企画課 企画担当：中村、通山
 電話：0834-22-8478 E-mail：kikaku@city.shunan.lg.jp

● ご回答いただくあなたご自身についてお伺いします。

問1～7：平成30年8月1日時点で、あてはまるものの番号1つだけに○印をつけてください。
 問5は空欄に郵便番号を記入してください。

1 性別は？	1. 男性	2. 女性		
2 年齢は？	1. 18～19歳	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～74歳	8. 75歳以上
3 同居の家族構成は？	1. 一人住まい	2. 夫婦のみ	3. 二世帯同居（子どもと同居）	
	4. 二世帯同居（親と同居）	5. 三世帯同居	6. その他	
4 お住まいの地区は？	1. 関門・中央	2. 遠石	3. 今宿	
	4. 周陽・秋月・桜木	5. 岐山	6. 久米	
	7. 榑浜	8. 鼓南	9. 菊川	
※わからない場合は、郵送した封筒の宛名部分に記載しています。	10. 夜市	11. 湯野	12. 戸田	
	13. 大道理・大向	14. 長穂	15. 須々万	
	16. 中須	17. 須金	18. 大津島	
	19. 富田	20. 福川	21. 和田	
	22. 三丘	23. 高水	24. 勝間	
	25. 大河内	26. 八代	27. 鹿野	
5 郵便番号	7	4	—	※郵送した封筒の宛名部分を参照。
6 周南市に居住している年数（合計）	1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満	
	4. 10～20年未満	5. 20～30年未満	6. 30年以上	
7 職業（雇用形態）は？	1. 農林漁業	2. 自営業・自由業		
	3. 正規の従業員（会社員、店員等）・団体職員・公務員			
	4. 派遣社員・契約社員・パート・アルバイト		5. 学生	
	6. 家事専業・無職	7. その他（ ）		

● 周南市についてのお考えをお伺いします。

問8：周南市について、誇りに思うものは何ですか？【あてはまるものすべてに○印】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 景観・自然環境 | 2. 名所・旧跡・歴史 |
| 3. 特産物（農林水産物・加工品等） | 4. 産業 |
| 5. 諸行事（祭り・イベント等） | 6. 周南市出身の著名人 |
| 7. 市内に暮らす人々 | 8. 地区内の助け合いなどの社会関係 |
| 9. その他（ | ） 10. 誇りに思うものはない |

問9：あなたが日常生活で困っていることは何ですか？【あてはまるものすべてに○印】

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 1. 食料品や日用品の買い物 | 2. レストランやカフェなど飲食店の利用 |
| 3. 銀行や信用金庫など金融機関の利用 | 4. 郵便局の利用 |
| 5. 総合病院や個人医院、診療所の利用 | 6. 幼稚園、認定こども園、保育所等の利用 |
| 7. 子育て支援など子育て環境 | 8. 子どもの小学校・中学校への通学 |
| 9. 小学校・中学校における教育環境 | 10. 高校や工業高等専門学校への通学 |
| 11. ティサービス、ショートステイ等の高齢者向けの福祉サービスの利用 | |
| 12. 仲間や友人と交流する場所 | 13. 鉄道、バスなどの公共交通の利用 |
| 14. 下水道や合併浄化槽など生活排水処理施設 | |
| 15. その他（ | ） |

問10：本市に愛着を感じていますか？【1つだけに○印】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば感じている |
| 3. どちらかといえば感じていない | 4. 感じていない |
| 5. どちらともいえない | |

問11：本市は住みよいと思いますか？【1つだけに○印】

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 住みよい | 2. どちらかといえば住みよい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問12：これからも本市に住み続けたいと思いますか？【1つだけに○印】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらかといえば住み続けたくない | 4. 住み続けたくない |
| 5. どちらともいえない | |

問13：問12で「3」または「4」に○をつけた方にお尋ねします。住み続けたくない理由はなんですか？【あてはまるものすべてに○印】

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 親や兄弟姉妹の近くに住みたい | 2. 将来は故郷に帰りたい |
| 3. 公共交通が不便 | 4. 買い物など日常生活に不便 |
| 5. 通勤や通学に不便 | 6. 医療や福祉が充実していない |
| 7. 子育て環境が充実していない | 8. 学校など教育環境が充実していない |
| 9. 文化、スポーツなどの施設を利用しにくい | 10. 気候など自然環境が良くない |
| 11. 道路、上下水道、公園など都市基盤が整っていない | |
| 12. 地区や近隣の人間関係になじめない | 13. 衛生、治安など生活環境が良くない |
| 14. 希望する住宅を購入・賃貸しにくい | 15. 家賃や地代が高い |
| 16. 電気・ガス・水道など公共料金が安い | 17. 仕事が見つかりにくい |
| 18. その他（ | ） |

問14：以下の項目について、あなたが感じている現在の「満足度」と、今後の生活にとっての「重要度」をお聞かせください。各項目の満足度と重要度について、それぞれあてはまるもの1つに○印をつけてください。

最後に、項目1～40までのうち、今後のまちづくりにおいて重要度が高いと思うものの中から上位3つまで選んで、「重点項目」欄にその項目の番号を記入してください。

項 目	現在の満足度は？					今後の重要度は？				
	満 足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不 満	重 要	やや重要	どちらともいえない	重要ではない	あまり重要ではない
例 ●●●の整備 ※ 記載例です。	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
1 少子化対策や子育て支援の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
2 幼児教育や義務教育などの充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
3 青少年の健全育成	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
4 生涯学習の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
5 コミュニティ活動の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
6 文化・芸術活動の促進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
7 スポーツやレクリエーションの振興	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
8 観光の振興	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
9 国際交流など国際化への対応	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

項 目	現在の満足度は？					今後の重要度は？					
	満 足	ま あ 満 足	と ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	重 要	や や 重 要	と ち ら と も い え な い	重 要 で は な い	あ ま り 重 要 で は な い	
10	中心市街地の活性化	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
11	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
12	空き家や空き地の利活用	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
13	街並みや景観の形成	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
14	公園や緑地の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
15	生活道路や幹線道路の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
16	河川や水路の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
17	上水道の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
18	下水道・排水施設の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
19	バスや鉄道など公共交通の利便性	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
20	自然環境の保全	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
21	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
22	母子・父子家庭等への福祉の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
23	高齢者福祉の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
24	障がい者福祉の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
25	健康づくり活動の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
26	病院等の医療体制の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
27	消防・救急体制の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
28	防災・減災体制の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
29	防犯対策や交通安全対策の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
30	行政相談・消費者相談体制の充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
31	農林業の振興	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
32	水産業の振興	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
33	工業の振興	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

項目	現在の満足度は？					今後の重要度は？				
	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
34 商業の振興	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
35 企業誘致の推進や起業への支援	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
36 人材の育成と雇用の創出	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
37 CATVや高速通信網など情報化の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
38 市政への参画や市民と行政の協働の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
39 人権の尊重と男女共同参画の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
40 行財政改革の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

●周南市のまちづくりの総合的な満足度について、あてはまるもの1つに○印をつけてください。

周南市のまちづくりの総合的な満足度	4	3	2	1	0
-------------------	---	---	---	---	---

●重要度が高いと回答したもののなかから3つまで選んで、「重点項目」欄に、その項目番号（1～40まで）を記入してください。

※例えば、重要度が高い上位3つを「2 幼児教育や義務教育などの充実」、「12 空き家や空き地の利活用」、「28 防災・減災体制の充実」と考えられている場合、右の重点項目欄に「2」、「12」、「28」の3つの番号を記入してください。

「重要」から3つ選択

重点項目		

● 周南市の市民サービスの向上に向けて、あなたのお考えをお伺いします。

問15：本市では、より一層効率的な市政運営や市民サービスの向上を図るため、行財政改革に積極的に取り組んでいます。あなたは、今後、何に重点的に取り組むべきと思いますか？

【あてはまるもの3つ以内に○印】

1. 情報公開制度の充実	2. 窓口サービスの向上
3. 財政健全化への取り組み	4. 事務事業の見直し
5. 公共施設の見直し	6. 補助金等の見直し
7. 未利用財産の売却（土地・建物）	8. 使用料・手数料等の受益者負担の適正化
9. 市民参画や市民協働の推進	10. 組織・機構の見直し
11. 職員数の適正化	12. 職員給与の見直し
13. 職員の資質の向上	14. 民間活力の導入・外部委託の推進
15. その他（	）

問16：この1年間に、以下の公共施設をどの程度利用しましたか？

【各施設で該当するもの1つだけに○印】

施 設	(年6回以上) よく利用した	(年5回以下) 時々利用した	利用しなかった
例 ●▲■などの●●●施設 ※記載例です。	3	②	1
市民センター（旧公民館）、コミュニティセンターなどの市民交流施設	3	2	1
図書館、美術博物館、文化会館などの文化施設	3	2	1
体育館、運動場、プールなどのスポーツ施設	3	2	1
福祉センター、デイサービスセンター、老人憩の家などの福祉施設	3	2	1
保健センター、市立病院、市立診療所などの保健衛生施設	3	2	1
道の駅、温泉施設、動物園などの産業観光施設	3	2	1
都市公園、児童遊園などの公園や緑地	3	2	1

問17：今後まちづくりを進める上で、特にどの公共施設が重要だとお考えですか？

【あてはまるもの3つ以内に○印】

1. 本庁舎、総合支所、支所などの事務庁舎
2. 市民センター（旧公民館）、コミュニティセンターなどの市民交流施設
3. 小学校、中学校、学校給食センターなどの学校関連施設
4. 図書館、美術博物館、文化会館などの文化施設
5. 体育館、運動場、プールなどのスポーツ施設
6. 幼稚園、保育園、児童クラブなどの子ども関連施設
7. 福祉センター、デイサービスセンター、老人憩の家などの福祉施設
8. 保健センター、市立病院、市立診療所などの保健衛生施設
9. 道の駅、温泉施設、動物園などの産業観光施設
10. 都市公園、児童遊園などの公園や緑地
11. 消防署、消防機庫などの消防防災施設
12. 特にない

問18：市民センター*が、どんな施設であることを期待しますか？

【あてはまるもの3つ以内に○印】

※本市では、生涯学習活動に加えて、地域が抱える課題や多様化する住民ニーズに対応する地域づくりの拠点としての役割を果たすため、今年4月に従来の公民館等を市民センターに改めました。

1. 地区のコミュニティ活動、ボランティア活動などを支援するための施設
2. 地区の課題を解決するための活動を行う施設
3. 特産品、生活用品の販売など、収益を伴う地域活動を行う施設
4. 地区住民の文化・教養を向上させるための施設
5. 学習情報の提供や相談など、生涯学習活動を支援するための施設
6. 地区の子育て支援活動に利用できる施設
7. 高齢者が気楽に集い利用できる施設
8. 青少年が気楽に集い利用できる施設
9. 地区住民が利用したい時に利用できる貸館施設
10. その他（)
11. わからない

問19：本市では、厳しい財政状況のなか、市民の皆様に必要なサービスを提供しつつ、本市の身の丈に合った施設保有量を実現するため、「岡南市公共施設再配置計画」を策定し、公共施設の老朽化問題に対する取組を進めています。

今後、施設の大規模改修や更新のほか、施設の統合や廃止、複合化といった見直しも必要となります。その場合、どのような施設から見直しを進めていくべきとお考えですか？

【あてはまるもの3つ以内に○印】

1. 利用者の少ない公共施設
2. 旧市町ごとに設置されているなど、同じようなものが市内に複数ある公共施設
3. 人件費を含めた管理運営費が高額な公共施設
4. 管理運営費（支出）に対し、施設使用料（収入）の割合が低い公共施設
5. 設置目的が限定的か、利用者が限定されている公共施設（多目的利用ができない施設）
6. 民間の施設でも同様のサービスを受けることができる公共施設
7. その他（)

● 市民参画についてのお考えをお伺いします。

問20：市政への市民参画[※]についてどう思われますか？【1つだけに○印】

※市民参画…市民が市政に関心を持ち、自ら主体的に発言し、提案することを通して、市と共にまちづくりに関わること

1. ぜひ参画したい → 問21へ
2. 機会があれば参画したい → 問21へ
3. あまり参画したくない → 問22へ
4. 参画したくない → 問22へ
5. どちらともいえない

問21：問20で「1」または「2」に○印をつけた方にお尋ねします。あなたは、どのような形で参画したいと思われますか？【あてはまるものすべてに○印】

1. パブリック・コメント^{※1}による意見の提出
2. 計画策定や施設整備の際に開催される市民説明会への出席
3. 計画策定や施設整備の際に開催されるワークショップ^{※2}への出席
4. 市が設置する審議会、委員会等の委員として参画
5. 意見等の募集への応募
6. 上記1～5以外での参画（ ）

※1 パブリック・コメント…市が施策を定めるとき、事前にその原案を公表して市民の意見を募集し、寄せられた意見を考慮して、市としての意思決定を行う手続き

※2 ワークショップ…市が施策を定めるとき、市民と市または市民同士が問題点を共有し、認識しながら、相互に議論、共同作業などを通して案を作り上げる方法

問22：問20で「3」または「4」に○印をつけた方にお尋ねします。あなたは、どのような理由から参画したくないとお考えですか？【1つだけに○印】

1. 施策、事業の内容及びよくわからないから
2. 自由に自分の考えや意見が述べられないから
3. 意見や提案をしても市政に反映されないから
4. 意見や提案をしても施策、事業が早急に実施されることが少ないから
5. 市が事業の進みぐあい等について市民に情報公開していないから
6. 仕事や家事などが忙しくて、時間がないから
7. 自分の考えが市のまちづくりの方向性と近いので、わざわざ参画する必要がないから
8. 特に理由はない
9. その他（ ）

- まちづくりへのご意見やご要望などがございましたらお聞かせください。
(自由記述欄)

Free text area for providing opinions and requests, consisting of a large rectangular box with horizontal dotted lines.

ここからは、環境基本計画と男女共同参画基本計画の策定に向けたアンケートになります。
引き続き調査にご協力ください。

ここからのアンケート内容に関するお問い合わせ先

(1) 環境・エネルギー関係

周南市 環境生活部 環境政策課 環境政策担当

電話：0834-22-8324 E-mail：kankyo@city.shunan.lg.jp

(2) 男女共同参画関係

周南市 環境生活部 人権推進課 男女共同参画室

電話：0834-22-8205 E-mail：jinken@city.shunan.lg.jp

(続く)

※調査票11～16ページについては、環境基本計画と男女共同参画基本計画の策定に向けたアンケートのため、省略します。

周南市市民アンケート調査
報告書

令和元年7月
周南市政策推進部 企画課